２０２６年度
（令和８年度）

MUKOJO 未来教育総合型選抜

〈総合型選抜〉

学生募集要項

武庫川女子大学

目　　次

（ページ）
◇　武庫川女子大学アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）…… 1
◇　受験に関する注意事項・連絡事項 …… 2
◇　入学試験要項 …… 4
１．趣旨 …… 4
２．制度 …… 4
３．出願資格 …… 4
４．募集学科〔専攻〕・人員・試験日 …… 5
５．出願手続（インターネット出願のみ）…… 5
⑴　出願期間・出願の流れ
⑵　出願書類
⑶　出願書類一覧表
⑷　入学検定料
◇　日程のフローチャート …… 8
◇　各学科の定める要項 …… 9
日本語日本文学科
歴史文化学科
英語グローバル学科〔英語文化専攻〕
英語グローバル学科〔グローバル・コミュニケーション専攻〕
教育学科
心理学科
社会福祉学科
健康・スポーツ科学科
スポーツマネジメント学科
生活環境学科
社会情報学科〔情報メディア専攻〕
社会情報学科〔情報サイエンス専攻〕
食物栄養学科
食創造科学科
演奏学科
応用音楽学科
薬学科
健康生命薬科学科
環境共生学科
経営学科
◇　音楽学部実技について …… 27
６．Web 受験票について …… 30
７．合格発表 …… 31
８．入学検定料の返還について …… 31
◇　インターネット出願方法について …… 32
９．入学手続 …… 35
10．入学金および学費等納付金 …… 36
11．英語グローバル学科のアメリカ分校留学制度 …… 38
12．アメリカ分校のための教育ローン制度 …… 39
13．褒賞・奨学金制度 …… 40
14．学寮 …… 42
◇　交通アクセス …… 44
令和８年度　アドミッション・ポリシー …… 46

個人情報の取り扱いについて

武庫川女子大学では、本学志願時にいただいた個人情報については、Web 受験票配信、入学試験実施、合否結果発表および手続き書類の送付、入学手続時の学籍基礎データ作成業務、入学前教育関係業務のほか、個人を特定できない方法・形式による統計資料の作成のために限り利用します。

その際、当該個人情報の漏えい、流出、不正利用などがないよう、「個人情報の保護に関する法律」および本学関係規程などに基づき、遺漏のなきよう管理します。

武庫川女子大学アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

武庫川女子大学は、「立学の精神」にうたわれる“高い知性”、“善美な情操”、“高雅な徳性”をそなえた自ら考え動く人材を育成するため、以下の知識・姿勢・行動を人材育成方針「MUKOGAWA COMPASS」として定めています。

MUKOGAWA COMPASS　　－自ら考え動く－

【知識】1 多様化・複雑化する社会を理解する力
　　2 “生きること”につながる専門性
【姿勢】3 自他を尊重する姿勢
　　4 失敗を恐れず挑戦する姿勢
　　5 逆境や困難に対応するしなやかな姿勢
【行動】6 論理的に考え伝える力
　　7 新たな価値を創造する力
　　8 多様な人々と協働する力

MUKOGAWA COMPASS

本学では、「立学の精神」と「MUKOGAWA COMPASS」に共感し、これらに基づいたディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）を理解したうえで、カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）に則した教育課程を学ぶために必要な、以下に掲げる学力と意欲を有する女性の入学を受入れます。

【知識】社会を理解し、入学を希望する学部・学科における専門性を身につけるために必要な基礎学力を有している。
【姿勢】自他を尊重し、失敗を恐れず挑戦するしなやかな姿勢を身につける意欲を有している。
【行動】自ら考え表現すること、新たな価値を創造し、多様な人々と協働することへの意欲を　有している。

そのため、本学では学科試験、書類審査、面接、実技、小論文などの多様な方法を活用して、入学希望者の知識や意欲を多面的かつ公正に評価します。

※　令和８年度の各学科アドミッション・ポリシーは P.46 をご確認ください。なお、令和７年度のディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーは本学ホームページでご確認ください。

2026 年度入学者選抜試験（武庫川女子大学）

学　部	学科・専攻	一般選抜（本学独自試験）	一般選抜（大学入学共通テスト利用）	公募制推薦入試	MUKOJO未来教育総合型選抜	指定校推薦入試	スポーツ推薦入試	演奏奨学生入試	附属高校推薦入試
文学部	日本語日本文学科	○	○	○	○	○	○	－	○
	歴史文化学科	○	○	○	○	○	○	－	○
	英語グローバル学科〔英語文化専攻〕	○	○	○	○	○	○	－	○
	英語グローバル学科〔グローバル・コミュニケーション専攻〕	○	○	○	○	○	○	－	○
教育学部	教育学科	○	○	○	○	○	－	－	○
心理・社会福祉学部	心理学科	○	○	○	○	○	－	－	○
	社会福祉学科	○	○	○	○	○	－	－	○
健康・スポーツ科学部	健康・スポーツ科学科	○	○	○	○	○	○	－	○
	スポーツマネジメント学科	○	○	○	○	○	○	－	○
生活環境学部	生活環境学科	○	○	○	○	○	○	－	○
社会情報学部	社会情報学科〔情報メディア専攻〕	○	○	○	○	○	－	－	○
	社会情報学科〔情報サイエンス専攻〕	○	○	○	○	○	－	－	○
食物栄養科学部	食物栄養学科	○	○	○	○	○	－	－	○
	食創造科学科	○	○	○	○	○	－	－	○
建築学部	建築学科	○	○	○	－	○	－	－	○
	景観建築学科	○	○	○	－	○	－	－	○
音楽学部	演奏学科	○	－	○	○	○	○	○（声楽・ピアノのみ）	○
	応用音楽学科	○	－	○	○	○	○	－	○
薬学部	薬学科	○	○	○	○	○	－	－	○
	健康生命薬科学科	○	○	○	○	○	－	－	○
環境共生学部	環境共生学科	○	○	○	○	○	－	－	○
看護学部	看護学科	○	○	○	－	○	－	－	○
経営学部	経営学科	○	○	○	○	○	○	－	○

備考　本学生募集要項は、MUKOJO 未来教育総合型選抜について詳細を記載します。その他の入学試験についての詳細は、それぞれ独自の学生募集要項に記載します。

（受験前に必ずお読みください）受験に関する注意事項・連絡事項

1．試験場・試験室に関するお知らせおよび注意事項

⑴　第二次選考の Web 受験票に記載の集合時間にお越しください。（Web 受験票配信日については P.30「6．Web 受験票について」を参照）

⑵　すべての試験場において、スリッパなどの上履きは不要です。

⑶　試験場下見は、兵庫〔本学（西宮）〕試験場の各キャンパス敷地内であれば可能です。ただし、建物の中や教室に入ることはできません。

⑷　試験室には時計がありません。入学試験当日は各自で計時機能のみの時計を持参してください。なお、時計の貸し出しは行いません。

⑸　付添い者は試験室のある建物に入ることはできません。

⑹　本学の周辺を含め、付近は駐車禁止となっていますので、自動車による来学はできません。

⑺　試験場・試験室に所持品を忘れたり紛失した場合は、本学アドミッションセンターにお問い合わせください。
本学アドミッションセンターで預かる遺失物については、一定期間保管した後、処分します。

⑻　試験当日、試験場周辺や最寄り駅で、大学関係者等を装い合否を受験生に連絡するという名目で、電話番号など個人情報を記入させ金銭を要求する者がいますが、本学とは一切関係ありません。これらの事例で発生したトラブルには、本学では責任を負いませんので、十分ご注意ください。

⑼　第二次選考試験日は昼食が必要になる可能性があります。昼食の有無については2025年10月14日（火）に本学受験生サイトの Topics に掲載します。

2．受験上の注意

⑴　受験票は、試験当日必ず持参してください。

⑵　遅刻者は、受験を許可しません。

⑶　次のことをすると「不正行為」となる、もしくは不正行為となる場合があります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を命じ、それ以後の受験はできなくなります。不正行為を行った受験生は、以後に実施される本年度の入学試験の受験を認めません。なお、入学検定料は返還しません。
①志願者以外の者が、志願者本人になりすまして試験を受けること
②試験場において他の受験生の迷惑となる行為をすること
③試験場において試験監督者の指示に従わないこと

⑷　試験時間の途中で退室することは、体調不良の場合を除き、認めません。なお、救護室での受験はできません。

3．受験環境について

入学試験の実施に際し、極力静穏な受験環境の保持に努めますが、やむを得ず以下のような場合があることをあらかじめご了承ください。

⑴　生活騒音（日常生活において通常起こりうる騒音）に対して、特別な対応はしません。
生活騒音の例……自動車・バイク・鉄道・航空機の音、通過する緊急車両のサイレン、工事の音、風音・雨音・雷鳴、イベントや選挙のアナウンス、試験室内の空調や照明などが発する音、動物の鳴き声、他の受験生のせき・くしゃみ・鼻をすする音

⑵　試験時間中に携帯電話や時計の音・振動などが発生し、発生源のカバンなどが特定できた場合、持ち主の同意なく、試験監督者が試験室外に持ち出し、試験終了まで入試本部で保管することがあります。

⑶　試験時間中、試験監督者が試験実施上必要な指示・説明・巡回を行うことに伴って生じる音などに対する申し出には応じられません。

⑷　試験室の設備（机、椅子、空調、照明等）の違いなどは、合否判定の際、考慮しません。

4．不測の事態への対応について

台風、地震、大雪等の自然災害、感染症（インフルエンザ、はしか、新型コロナウイルスなど）、その他不可抗力により入学試験実施に影響を及ぼすような事態が生じた際は、対応措置を本学ホームページで告知します。

URL　https://www.mukogawa-u.ac.jp/

不測の事態が発生した場合、試験開始時刻の繰下げ、正規の試験時間を確保するための試験時間の延長、休憩時間の調整、最終終了時刻の変更、試験や合格発表の延期等の措置を取ることがあります。ただし、これらの措置によって生じた受験生の負担費用、その他個人的損害について、本学はその責任を負いません。

5．感染症に罹患した受験生への対応について

法令で児童生徒等の出席を停止させることができる感染症（インフルエンザ、はしか、新型コロナウイルスなど）に罹患し治癒していない場合は、その感染症が他の受験生や監督者に拡がる恐れがありますので、入学試験の受験をご遠慮いただくことをお願いしております。感染拡大防止の観点から入学試験当日の別室受験の対応は行いません。また、別日程での追試験は行いません。

なお、感染症拡大への対応措置として、感染症罹患のために本学入学試験を欠席する場合、入学検定料返還の対応を行います。

感染症罹患のために本学入学試験を欠席する場合、以下の通り手続きを行ってください。

【感染症に罹患された場合の手続きについて】

⑴　対象者

法令で児童生徒等の出席を停止させることができる感染症（インフルエンザ、はしか、新型コロナウイルスなど）にかかり、治癒していないために入学試験を欠席された受験生

⑵　申請方法

①以下の通り本学アドミッションセンターへ電話してください。

ア　受 付 日：第二次選考入学試験日当日まで

イ　受付時間：９時00分～ 17時00分

ウ　電話番号：0798-45-3500

※申請受付時間中に連絡することなく欠席した場合は、通常の欠席として取り扱い、入学検定料の返還対応はいたしません。

②電話による申請受付後、以下の書類を提出いただきます。

ア　感染症罹患による入学試験欠席対応申請書（本学指定様式）

※電話による申請受付後、本学アドミッションセンターよりお送りします。

イ　医療機関の診断書　以下の内容が記載

病　　名：法令で出席停止が定められている感染症名

加療期間：欠席した試験日が含まれているもの

※医療機関の診断書の提出ができない場合は、本学アドミッションセンターにご相談ください。

6．受験および入学後に特別な配慮が必要な場合について

病気･負傷や障がい等のために、受験時に配慮を必要とする場合は、2025年８月29日（金）までに、本学アドミッションセンター（0798-45-3500）に申し出てください。

また、出願後の不慮の事故等による負傷や急な疾病等で受験時に特別な配慮と措置を希望する場合は、至急アドミッションセンターに申し出てください。

申請に基づいて障がい等の状況に応じた配慮を行いますが、ご希望に添えない場合もありますので予めご了承ください。

入学後の配慮については、学生サポート室（0798-45-3794）になるべく早くお問い合わせください。

7．公募制推薦入試との併願について

MUKOJO 未来教育総合型選抜は専願制の入試ですが、本学の公募制推薦入試（前期）･（後期）との併願が可能です。ただし、MUKOJO 未来教育総合型選抜第二次選考に合格された場合は、公募制推薦入試（前期）･（後期）分の入学検定料は返還対象となり、公募制推薦入試（前期）･（後期）の受験を認めません。また、公募制推薦入試（前期）･（後期）を受験されても、合否判定対象外となります。

入学試験要項

1．趣　　旨

教科・科目試験の成績に留まらない受験生の能力を、学科のアドミッション・ポリシーに照らして多面的に評価することにより、主体的な学習意欲に優れた学生を積極的に受入れるため、MUKOJO 未来教育総合型選抜を実施します。

2．制　　度

専願制（合格すれば必ず入学することを前提とする）の入学試験制度です。

※本学の公募制推薦入試の併願可。「MUKOJO 未来教育総合型選抜」に合格された場合は、本学の公募制推薦入試の検定料を返還します。

3．出願資格

次の１～３のいずれかに該当する女子。

1　高等学校もしくは中等教育学校を卒業、または2026年３月卒業見込みの者

2　通常の課程による12年の学校教育を修了、または2026年３月修了見込みの者

3　学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および2026年３月31日までに該当する見込みの者

具体的には以下に掲げる（1）～（7）のいずれかに該当する者

（1）外国において、学校教育における12年の課程を修了した者および2026年３月31日までに修了見込みの者、またはこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの

（2）文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者および2026年３月31日までに修了見込みの者

（3）専修学校の高等課程（修業年限が３年以上であること、かつその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者および2026年３月31日までに修了見込みの者

（4）文部科学大臣の指定した者

（5）高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業認定試験に合格した者および2026年３月31日までに合格見込みの者（旧規定による大学入学資格検定に合格した者を含む）で2026年３月31日までに18歳に達するもの

（6）本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で2026年３月31日までに18歳に達するもの。なお、個別の入学資格審査によって出願資格の認定を希望する者は、出願開始日の1ヶ月前までにアドミッションセンターに連絡すること

4. 募集学科〔専攻〕・人員・試験日

<table>
<tr><th>学　　部</th><th>学　　科〔専攻〕</th><th>募集人員
※</th><th>第一次選考
書類審査
結果発表日</th><th colspan="2">第二次選考
試験日・集合時間・場所</th><th>合格発表日</th></tr>
<tr><td rowspan="4">文学部</td><td>日本語日本文学科</td><td>5名</td><td rowspan="19">2025年
10月11日
（土）</td><td rowspan="19">2025年
10月19日
（日）</td><td rowspan="18">9時30分
中央キャンパス
公江記念講堂</td><td rowspan="19">2025年
11月1日
（土）</td></tr>
<tr><td>歴史文化学科</td><td>7名</td></tr>
<tr><td>英語グローバル学科〔英語文化専攻〕</td><td>10名</td></tr>
<tr><td>英語グローバル学科〔グローバル・コミュニケーション専攻〕</td><td>10名</td></tr>
<tr><td>教育学部</td><td>教育学科</td><td>20名</td></tr>
<tr><td rowspan="2">心理・
社会福祉学部</td><td>心理学科</td><td>5名</td></tr>
<tr><td>社会福祉学科</td><td>7名</td></tr>
<tr><td rowspan="2">健康・
スポーツ科学部</td><td>健康・スポーツ科学科</td><td>20名</td></tr>
<tr><td>スポーツマネジメント学科</td><td>10名</td></tr>
<tr><td>生活環境学部</td><td>生活環境学科</td><td>8名</td></tr>
<tr><td rowspan="2">社会情報学部</td><td>社会情報学科〔情報メディア専攻〕</td><td>10名</td></tr>
<tr><td>社会情報学科〔情報サイエンス専攻〕</td><td>5名</td></tr>
<tr><td rowspan="2">食物栄養科学部</td><td>食物栄養学科</td><td>10名</td></tr>
<tr><td>食創造科学科</td><td>10名</td></tr>
<tr><td rowspan="2">音楽学部</td><td>演奏学科</td><td>5名</td></tr>
<tr><td>応用音楽学科</td><td>4名</td></tr>
<tr><td>経営学部</td><td>経営学科</td><td>10名</td></tr>
<tr><td rowspan="2">薬学部</td><td>薬学科</td><td>3名</td><td rowspan="2">9時30分
浜甲子園キャンパス
研究管理棟1階会議室</td></tr>
<tr><td>健康生命薬科学科</td><td>6名</td></tr>
<tr><td>環境共生学部</td><td>環境共生学科</td><td>10名</td></tr>
</table>

※得点状況等により、募集人員が充足しない場合があります。

5. 出願手続（インターネット出願のみ）

(1) 出願期間・出願の流れ

出願登録＆入金締切

2025年9月26日（金）までに必ずインターネット上で、出願登録と入学検定料の納入を完了してください。

（出願登録・出願書類提出・入金）受付開始	（出願登録・出願書類提出・入金）締切
2025年9月19日（金）	2025年9月26日（金）※

※調査書等の提出は締切日までの消印有効です。

(2) 出願書類

2025年9月26日（金）までに書類提出システム（J-Bridge System）にアクセスし、所定の入力や出願書類のアップロードをしてください。J-Bridge System の利用マニュアルは本学受験生サイトの特設ページ「MUKOJO 未来教育総合型選抜」で確認してください。入力内容は当該システムより印刷したものを控えとして保管しておいてください。

調査書（厳封されたもの）と音楽学部の実技試験申告書や伴奏用楽譜に関しては、郵送のみとします。各自で用意した角2封筒に封入し、出願期間内に郵便局窓口から簡易書留・速達で郵送してください（出願書類締切日消印有効）。調査書等の提出に関してはP.34を参照してください。

各学科の定める要項（P. 9～P.26）

・出願書類の虚偽記載について

出願書類の記載事項が事実と異なる場合や不正がある場合は、受験または合格を取り消します。

出願書類の詳細

<table>
<tr><td rowspan="2">全員提出</td><td>① 調 査 書 等</td><td colspan="2">次の(a)、(b)、(c)、(d)、(e)のいずれか、該当する出願資格に応じた書類を提出してください。
(a) 高等学校もしくは中等教育学校を卒業（見込み）者
• 文部科学省指定の様式により、出身学校長が出願前３ヶ月以内に作成した調査書（厳封）
(b) 外国における12年の課程修了（見込み）者
•「修了（見込み）証明書」と「成績証明書」
※日本と外国の両方に在籍した者は、日本の高等学校もしくは中等教育学校の「調査書」または「成績証明書」も提出してください。
(c) 高等学校卒業程度認定試験（大学入学資格検定含む）合格者
•「合格証明書」または「合格成績証明書」どちらかのコピー
(d) 単位修得による高等学校卒業程度認定試験合格見込みの者（次の(i)(ii)のいずれか）
(i) 高等学校卒業程度認定試験の「合格見込成績証明書」
(ii) 高等学校卒業程度認定試験の「科目合格通知書」をコピーしたものおよび「単位（科目）修得見込証明書」（合格に必要な残りの試験科目分）
※免除科目がある場合は、最終高等学校の「調査書」または「成績証明書」を添付してください。
(e) 高等学校等を卒業後５年以上経過する等の理由により、高等学校等による調査書の発行が不可能な者
•「卒業証明書」（厳封）</td></tr>
<tr><td>② 写 真 デ ー タ（カ ラ ー）</td><td colspan="2">(ア) カラー写真データ（JPEG）をインターネット出願時にアップロードしてください。印刷した写真の提出は不要です。
(イ) 写真は入学後、学生証に使用しますので、できるだけ私服を着用してください。（制服着用の写真を高等学校から推奨されている場合、制服着用の写真でも結構です。）
(ウ) カラー写真データ（JPEG）は全入試共通で１枚のアップロードとしますが、必ず2025年8月以降に撮影したデータを使用してください。

正しい見本
• 試験日当日に本人確認のために使用しますので、実際の容姿と著しく異なるような加工等はしないでください。目を大きく見せたり、美白処理、顔パーツやほくろ、しわなどを修正したりするなどして、本人のイメージを変えることは不適当です。
試験当日の本人確認が行えず、試験に不利益をもたらす可能性があります。
• 以下の【不適当な写真例】をご確認の上、ご用意ください。
【不適当な写真例】
①近すぎる（顔の割合が大きすぎる）、あるいは遠すぎる（顔の割合が小さすぎる）
②自撮りの腕が写りこんでいる
③加工アプリで撮影したもの、あるいは輪郭を削る、目を大きくする等の加工を行っている
④印刷された証明写真を撮影している
⑤カラーコンタクト（ディファイン含む）を装着している
⑥照明が眼鏡に反射している
⑦色付きの眼鏡やサングラスを装着している
不適当な写真の一例（図）

近すぎる（顔の割合が大きすぎる）

遠すぎる（顔の割合が小さすぎる）

印刷された証明写真を撮影している

自撮りの腕が写りこんでいる</td></tr>
<tr><td>対象者のみ提出</td><td>音楽学部のみ</td><td>③実技試験申告書（本学所定用紙）</td><td>P.29参照。
(ア) 演奏学科および応用音楽学科のみ必要です。
(イ) 必要事項を記入し、所定の位置にカラー写真（縦４㎝×横３㎝）を貼ってください。
• 上記②の写真データとは別に、印刷された写真の貼り付けが必要です。</td></tr>
</table>

健康・スポーツ科学部に出願される方へ

・学部の授業には実技・実習科目が数多く設定されています。
・入学後の授業で実技・実習が「必修」として課せられるため、入学時に「健康診断書」を提出していただきます。

(3)　出願書類一覧表

<table>
<tr><th>学　　部</th><th>学科〔専攻〕</th><th>J-Bridge System で提出</th><th>郵送で提出</th></tr>
<tr><td rowspan="4">文学部</td><td>日本語日本文学科</td><td>自己推薦書／活動報告書</td><td rowspan="22">調査書等
（P. 6 ①調査書等参照）
【厳封】

〔音楽学部のみ〕
実技試験申告書
伴奏用楽譜
（声楽とミュージカル歌唱のみ）

郵送に関しては P.34を参照してください。</td></tr>
<tr><td>歴史文化学科</td><td>自己推薦書／活動報告書</td></tr>
<tr><td>英語グローバル学科
〔英語文化専攻〕</td><td>志望理由書／自己推薦書</td></tr>
<tr><td>英語グローバル学科
〔グローバル・コミュニケーション専攻〕</td><td>エッセイ</td></tr>
<tr><td>教育学部</td><td>教育学科</td><td>自己推薦書／活動報告書／活動内容を証明する参考資料（任意）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">心理・
社会福祉学部</td><td>心理学科</td><td>志望理由書</td></tr>
<tr><td>社会福祉学科</td><td>レポート</td></tr>
<tr><td rowspan="3">健康・
スポーツ科学部</td><td rowspan="2">健康・スポーツ科学科</td><td>＜健康・スポーツ活動アピールタイプ＞
活動報告書／活動内容を証明する参考資料（任意）／入学後の計画書</td></tr>
<tr><td>＜教員志望アピールタイプ＞
教職志望理由書／入学後の計画書</td></tr>
<tr><td>スポーツマネジメント学科</td><td>活動報告書／活動内容を証明する参考資料（任意）／入学後の計画書</td></tr>
<tr><td>生活環境学部</td><td>生活環境学科</td><td>入学後の学びの抱負</td></tr>
<tr><td rowspan="2">社会情報学部</td><td>社会情報学科
〔情報メディア専攻〕</td><td>志望理由書／自己推薦書／学習活動（探究学習、海外留学など）報告書／学習活動をもとにした大学入学後の学びの計画書</td></tr>
<tr><td>社会情報学科
〔情報サイエンス専攻〕</td><td>志望理由書／自己推薦書／学習活動（探究学習、海外留学など）報告書／学習活動をもとにした大学入学後の学びの計画書</td></tr>
<tr><td rowspan="2">食物栄養科学部</td><td>食物栄養学科</td><td>志望理由書／自己推薦書</td></tr>
<tr><td>食創造科学科</td><td>志望理由書／自己推薦書</td></tr>
<tr><td rowspan="2">音楽学部</td><td>演奏学科</td><td>志望理由書／音楽プロフィール</td></tr>
<tr><td>応用音楽学科</td><td>志望理由書／音楽プロフィール</td></tr>
<tr><td rowspan="2">薬学部</td><td>薬学科</td><td>志望理由書／自己推薦書</td></tr>
<tr><td>健康生命薬科学科</td><td>自己推薦書／資格を証明できる書類</td></tr>
<tr><td>環境共生学部</td><td>環境共生学科</td><td>志望理由書／自己推薦書</td></tr>
<tr><td>経営学部</td><td>経営学科</td><td>志望理由書／自己推薦書／学習活動（探究学習、海外留学など）報告書／学習活動をもとにした大学入学後の学びの計画書</td></tr>
</table>

(4)　入学検定料

入学検定料納入期間は(1)　出願期間・出願の流れを参照してください。必ず入金締切日までに入学検定料の納入を完了してくだい。

入学検定料納入方法は①クレジットカード、②ネットバンキング、③コンビニエンスストア、④ ATM（ペイジー）から選択してください。お支払いについては、P.33を参照してください。

入学検定料	35,000円　入学検定料の他に、サービス利用料（一律1,000円）が必要です。

以下の点にご注意ください。

①いったん納入された入学検定料は、原則返還できません。ただし、入学検定料を返還する場合があります。詳しくは P.31「８．入学検定料の返還について」を参照してください。

②納入期間内に入学検定料を納入されない場合は、出願は無効になります。

日程のフローチャート

出願資格・出願に必要な書類を確認・事前の準備

本学生募集要項を熟読し、出願の準備を進めてください。

「調査書」を含む
出願書類の準備、手配

調査書等の提出（郵送）P.34を参照
2025年９月26日（金）消印有効

※学科により出願時提出書類は異なります。必ず「各学科の定める要項」を確認してください。

オンライン申請　　**入学検定料納入**

2025年９月19日（金）９：00
～ 2025年９月26日（金）23：59

①出願登録、入学検定料納入
URL：https://sak-sak.net/app/mukojo

②出願書類提出（J-Bridge System）
URL：https://univ.j-bridgesystem.jp/app/auth/login

※ J-Bridge System の初期登録は①登録完了画面から進むことができます。
※②は出願登録期間中は修正および一時保存ができます。
再ログイン時は②の URL を使用してください。

第一次選考　受験票発行
2025年10月２日（木）～ 2025年10月19日（日）

第一次選考　書類審査結果発表日
2025年10月11日（土）

第一次選考受験票で受験番号を確認してください。
受験生サイトの合否照会には受験番号と生年月日が必要です。

第二次選考　受験票発行
2025年10月14日（火）～ 2025年11月７日（金）

昼食の有無については2025年10月14日（火）に本学受験生サイトの Topics に掲載します。

第二次選考　試験日
2025年10月19日（日）

第二次選考　合格発表日
2025年11月１日（土）

入学金（入学申込金）および学費納付金納入期間
2025年11月４日（火）～ 2025年12月12日（金）〔厳守〕

各学科の定める要項

日本語日本文学科

求める人物像

日本語や日本文学に関心を持ち、それらの学修を通して得た専門的知識と技能を活かして①自身の関心を伸ばし、他者の関心にも目を向け、言葉や文化を通じた相互理解を深めようとする姿勢を持つ人、②高いコミュニケーション能力を有する職業人として社会に貢献しようという意欲を持った人、③中学校の国語科教諭、高等学校の国語科または書道科教諭、学校図書館司書教諭、日本語教員、図書館司書、博物館学芸員の職業の資格を取得し、それぞれの分野で活躍し、社会に高く貢献しようという意志を持った人。その上で「他者と積極的に協働する力」もしくは「ひとつのことに関心を持ち、探究する力」を備えている人物であること。

出願時提出書類

①自己推薦書
②活動報告書
（コンクール等の受賞などの客観的評価でも、本を何冊も読んできたなど体験や経験の記述などでも構いません。）
※想定される活動実績の内容の一例
・高等学校での探究型学習への取り組みおよび成果物
・高等学校までの読書体験の記録
・学校内外での委員会や部活動、ボランティア等の活動実績
・学校内外でのスピーチコンテストでの入賞
・論文や創作作品、書道作品、映像作品・ウェブページ等の制作実績、表彰実績および成果物
なお②について、
・論文、創作作品、書道作品等は、写真や PDF の場合3点以内とし、合わせて A4サイズ 3 ページを最大とする。表彰実績として賞状の写真や PDF を添える場合は、上記と別に 1 点までとする。
・映像作品は 5 分以内（ダイジェストも可）とする。ウェブページは分量指定なし。Youtube の URL（限定公開。概要欄に自分の名前を記載すること）、ウェブページも URL（ウェブページのどこかに自分の名前を記載すること）を示すこと。

選考方法

［第一次選考］書類審査
［第一次選考ポイント］
・自己推薦書（800字以上～ 1000字以内）
①「他者と積極的に協働する力」もしくは「ひとつのことに関心を持ち、探求する力」を備えていることを具体的に説明しているか。
②それらの力が日本語日本文学科での学びにどう結びつくかが示されているか。
［第二次選考］
・小論文（60分）
学科の学びに関係するテーマを当日提示する。
・個人面接（20分）
［第二次選考ポイント］
・小論文
当日出されたテーマについて深く思考し、自分の考えを論理的に記述できているか。
・個人面接
①質問を正しく理解し対話できているか。
②自己推薦書に記載した活動について明確に述べることができているか。
③ ①②を、話し方および態度を踏まえて評価する。
＊出願時提出書類②については現物を個人面接の際に持参してもよい。

歴史文化学科

求める人物像

日本の歴史・文化に関心を持ち、それらの学修を通して得た専門的知識と技能を活かして、①論理的、批判的思考力を備え、高いコミュニケーション能力を有する職業人として社会に貢献しようとする意欲を持った人、②「様々なことに関心を持ち、意欲を持って取り組める力」、または「興味あることに粘り強く取り組める力」を持っている人、③中学校の社会科教諭、高等学校の地理歴史科教諭、図書館司書、学校図書館司書教諭、博物館学芸員等の職業に就き、それぞれの分野で活躍し、社会に高く貢献しようという意思を持った人。

具体的には、高等学校において歴史総合をはじめ、日本史・地理分野を深く学び、加えて外国史および外国語にも一定の知識と関心を持ち、文系・理系とも幅広く学修して基礎的な学力を確保していることを求める。

出願時提出書類

①自己推薦書

②活動報告書：文章のほか、写真・イラスト等の使用可

※想定される活動報告の例

・高等学校までの探究型学習への取り組み及び成果物

・学校内外での委員会や部活動、ボランティア、フィールドワーク、地域イベント等の活動・参加実績等

・史跡、世界遺産、博物館や美術館の訪問実績

・学校内外でのプレゼンテーション実績、スピーチコンテストでの入賞など

・各種検定試験の合格実績、表彰実績および成果物

選考方法

［第一次選考］書類審査

［第一次選考ポイント］

・自己推薦書（600字以上～ 800字以内）

⑴「様々なことに関心を持ち、意欲を持って取り組める力」、または「興味あることに粘り強く取り組める力」を持っていることを具体的に説明できているかを評価する。

⑵⑴で記した力が歴史文化学科での学びにどう結び付くかが示されているかを確認する。

・活動報告書（600字以上～ 800字以内）

活動内容の詳細、成果や効果が客観的に評価されているかを総合的に判断する。

※「客観的に評価」とは、表彰等の実績だけではなく、得られた経験や理解に対する評価も含みます。

［第二次選考］

・プレゼンテーション（５分）

以下の①②からひとつを選び、内容を説明したうえで、歴史的、あるいは社会的評価と自分の評価を比較しながらプレゼンテーションする

①最も関心を持つ歴史的事象、人物等

②最も関心のある時事問題

・個人面接（25分）

［第二次選考ポイント］

・プレゼンテーション

次の⑴～⑶について評価する。

⑴自分が選んだ事項について調査し、論理的かつ客観的に説明できているか。

⑵対象を選択した理由が明確に説明されているか。

⑶自身の考察や疑問を的確に伝えられているか。

・個人面接

次の⑴～⑶について評価する。

⑴質問を正しく理解し、対話できているか。

⑵提出書類（自己推薦書、活動報告書）の内容について適切に答えることができるか。

⑶⑴⑵について、話し方（スピード、声の大きさ、目線等）や態度を踏まえて総合的に評価する。

（注意事項）

プレゼンテーションでは、発表に必要な資料などを持ち込んで使用しても構いません。

電子データを使用したい場合は資料を PDF 化し、USB に保存して持参してください。

英語グローバル学科〔英語文化専攻〕

求める人物像

①社会を理解し、英語グローバル学に関する専門性を身につけるために必要な基礎学力を有している。
②大学入学までに学んだ英語をはじめ、その他の教科の知識を柔軟に活用する応用力を有している。
③大学の講義・演習・実習に真摯に取り組む意志を有している。
④本専攻のアメリカ分校留学（参加必須）に意欲的に参加する意志を有している。
⑤自他を尊重し、失敗を恐れず挑戦するしなやかな姿勢を身につける意欲を有している。
⑥英語を使って、地域ならびに国際社会の発展に貢献したいという熱意を有している。
⑦自ら考えて表現すること、新たな価値を創造し、多様な人々と協働することへの意欲を有している。
⑧豊かな感性と広い視野を持ち、多様な人々と共に学び成長したいという熱意を有している。

出願時提出書類

①志望理由書
②自己推薦書

選考方法

［第一次選考］書類審査
［第一次選考ポイント］
・志望理由書（1000字以上～ 1200字以内、「ですます調」で記すこと）
大学での学びや卒業後に目指す自身の姿を思い描き、英語グローバル学科英語文化専攻を志す理由を具体的に記すこと。
・自己推薦書（1000字以上～ 1200字以内、「ですます調」で記すこと）
これまでの学びを自己評価（学習や活動から得られたこと、今後の課題など）したうえで、「求める人物像」や「その他出願条件」に記された内容に関連して、力を入れて取り組んできたことや活動などに言及しながら自己アピールすること。
［第二次選考］
・グループディスカッション（日本語）（20分）
・個人面接（英語および日本語）（５分）
面接では英語で自己紹介をしてください。簡単な質疑応答を行います。その後、日本語で、出願時に提出された書類を中心に、本専攻で学ぶ姿勢などについて尋ねます。その際、自己推薦書で言及した活動を証明する資料（証明書や表彰状）を使って説明しても構いません。
［第二次選考ポイント］
・グループディスカッション
他者の意見に耳を傾け、積極的に反応※していることを重視します。
※他参加者の発言内容に対して質問する、同意する点を明らかにして賛同するなど、ディスカッションに積極的に関わろうとする態度のこと
・グループディスカッションおよび個人面接
自分の意見を分かりやすく積極的に発言していることを重視します。

英語グローバル学科〔グローバル・コミュニケーション専攻〕

求める人物像

①グローバル社会をより良くするために、「何らかの取り組みを行ってきた人」または「入学後に取り組みたい活動計画がある人」。

※ここでの「取り組み」とは、「選考方法」における「エッセイ」「プレゼンテーション」「個人面接」を通じてアピールできる内容であれば、分野は問いません。

②社会を理解し、英語グローバル学に関する専門性を身につけるために必要な基礎学力を有している人。

③入学後は欧米の文化や言語、ビジネスコミュニケーション、グローバル・スタディズに関する基礎的および専門的な知識を修得する意欲を持った人。

④本学科の学修を通して得た専門的知識と論理的思考力等を生かし、自ら課題を発見・解決する能力を身につけ、社会に貢献する意欲を持った人。

⑤入学後にアメリカ分校（MUSC）へ４ヶ月間留学し、英語運用能力や異文化を理解する力を身につける意欲を持った人。

⑥グローバル社会で通用する幅広い知識と確かな英語力を身につけ、民間企業や公的機関等で活躍する意欲を持った人。

出願時提出書類

①エッセイ

※求める人物像①の「グローバル社会をより良くするための取り組み」について、具体的に記してください。

選考方法

［第一次選考］書類審査

［第一次選考ポイント］

・エッセイ（日本語1000字以上～ 1200字以内）

⑴「これまでの取り組み」あるいは「入学後に取り組みたい活動計画」が、グローバル社会での活躍を期待させるものであるかを確認します。

⑵誤字等がなく一貫した明快な主張が書かれているか、またグローバル社会の課題に将来取り組む意欲が感じられるかを確認します。

［第二次選考］

・プレゼンテーション（日本語または英語）（５分）

・質疑応答（日本語および英語）（10分）

・個人面接（日本語および英語）（10分）

［第二次選考ポイント］

・プレゼンテーションおよび質疑応答

「グローバル社会に生きる一人として、あなたが将来何をしたいか」を表現してください。発表されたプレゼンテーションの内容に関する質問をします。

・個人面接

志願者の「これまでの取り組み」あるいは「入学後に取り組みたい活動計画」がどのようにグローバル社会と関わっているかについて尋ねます。

（注意事項）

プレゼンテーションでは、発表に必要なポスターや参考資料などを持ち込んで使用しても構いません。

プレゼンテーションにおいて、PC やタブレット型端末の使用は必須ではありません。

各種情報機器を使ってプレゼンテーションをする場合、面接会場の大型モニターを利用いただけます。PC やタブレット型端末などの情報機器類は受験生各自で準備して持参してください。貸出は行いません。

教育学科

求める人物像

①教員や保育士をめざしており、教育現場や保育現場において、その充実と発展に貢献しようという強い意志を持つ者。

②理系・文系という枠組みに捉われず、教育学科での学びに必要となる確かな基礎学力を身につけており、講義・演習・実習（教育・保育現場での学外実習など）に真摯に取り組める者。

③部活動やボランティア、生徒会活動など、勉学以外にも仲間や周囲の人々とともに切磋琢磨してきた者。

出願時提出書類

①自己推薦書（1000字以上～ 1200字以内）

②活動報告書（1000字以上～ 2000字以内）

③活動内容を証明する参考資料（任意）

活動報告書の内容をより理解しやすくするための補完資料は、PDF で A4サイズ 3 ページを最大とする。

選考方法

［第一次選考］書類審査

［第一次選考ポイント］

・自己推薦書

これまでの学びで得られた知識や経験と「求める人物像」を関連させた上で記述されていること。

・活動報告書

高等学校入学以降で力を入れて取り組んできた活動について、活動内容の詳細と周囲の人々との関わりを示したうえで自己評価をし、教育学科での学びにどのように結びつくのか4年間の学習計画を添えて記述されていること。

※想定される活動実績の内容の一例

・学校内外での生徒会や委員会、部活動、ボランティア等の活動実績

・学校内外でのコンテストの入賞

・高等学校での教科学習や探究型学習への取り組み及び成果

・各種検定試験の合格実績、表彰実績

・留学、海外経験

［第二次選考］

・小論文（60分）

・グループディスカッション（20分）

・集団面接（20分）

［第二次選考ポイント］

・小論文

教育や保育に関するテーマについて当日提示する。記述内容の論理性や表現力を評価する。

・グループディスカッション

教育や保育に関する諸課題について、問題解決に向けた討論を行う。その過程における理解力、積極性、協調性・コミュニケーション能力などの資質・能力を総合的に評価する。

・集団面接

質問を正しく理解し、的確に自分の考えを述べることを評価する。

心理学科

求める人物像

①人のこころの働きや人の行動に強い関心をもち、本学科で学ぶことを希望している。

②理系・文系を問わず、幅広い科目に興味をもち、大学での学びに必要となる基礎学力を身に付けている。

③問題を解決するために、身に付けた知識を活用して、考えようとする。

④人と適切にコミュニケーションを取り、活動できる。

⑤人を支援することや人と協働するための知識とスキルを身に付けることを目指している。

出願時提出書類

①志望理由書

・本学科を志望する動機を記すこと。

選考方法

［第一次選考］書類審査

［第一次選考ポイント］

・志望理由書（600字以上～ 800字以内）

以下の2点のポイントをすべて含めて記載すること。

①求める人物像の各項目を念頭におきながら、本学本学科を志望する動機を記載すること。

②原稿用紙の使い方に沿って、適切に段落を構成し、字下げ、句読点などを適切に記載すること。

［第二次選考］

・小論文（60分）

心理学に関連する文章を読み、自分の考えを記す。

・グループディスカッション（30分）

小論文で課された内容についてグループで討議する。

・個人面接（10分）

志望動機を確認する。また、グループディスカッションでの自分の発言内容や態度について振り返る。

［第二次選考ポイント］

・小論文

記述内容の論理性や妥当性を評価する。また、誤字脱字等のチェックも行う。

・グループディスカッション

他者に発言の機会を与えているか、自分の意見を他者にわかりやすく論理的に述べることができるかどうかをみる。

・個人面接

志望動機を確認する。グループディスカッションでの自分の発言内容や態度を客観的に振り返ることができているかどうかを確認する。

自分の言葉で的確に説明できるかどうかもみる。

社会福祉学科

求める人物像

①本学科のアドミッション・ポリシーと合致し、学科の理念や内容をよく理解している者。

②本学科で学びたい意欲が明確であり、問題意識やテーマをもって入学する者。

③傾聴力と何事に対しても参加意欲がある者。

出願時提出書類

次の⑴から⑸を選択した上でレポートを作成し、提出すること。ただし、⑴から⑷の選択者は該当する体験を大学での学びにどのように生かそうと考えているのかを記すこと。⑸の選択者は各分野でどのように貢献したいかを記すこと。

⑴高等学校等において修得（見込みを含む）した福祉に関連する科目（介護・保育・家庭・公共・生活科学等）について学んだことを記すこと。

⑵高等学校等に在学中に委員会等の活動、ボランティア活動、福祉活動、その他社会的活動等を継続して６ヶ月以上行い、リーダー的役割を果たした経験について記すこと。

⑶社会的養護（児童養護施設、里親家庭での生活等）の経験又は受験時にその状態にあることについて記すこと。

⑶については、こども家庭庁が掲げる「こどもまん中の社会を実現する」理念に基づき、社会的養護の経験にある者の大学進学を支援し、本学本学科が目指す社会福祉学の理念と教育の発展に寄与することを目指して実施されるものです。

⑷中学校から出願時までの諸活動（言語・学芸・スポーツ等）において優れた成績を収めた経験について記すこと。

⑸大学での学びを通じて、社会福祉、多文化共生、国際貢献、ソーシャル・ビジネス（社会企業等）等の分野でどのように貢献したいのかを記すこと。

選考方法
［第一次選考］書類審査
［第一次選考ポイント］
・レポート (800字以上～ 1000字以内)
※求められていることを具体的に説明すること。
［第二次選考］
・本学科教員が実施する模擬授業（60分程度）への参加
—社会福祉の今日的なテーマ、社会的な問題について講義を行います。
—講義は最初に構成を説明し、本題に入ります。
—講義中にメモ用紙に講義内容をメモします。
—講義後、模擬授業の内容のまとめと感想を記述します。
・グループワーク（45分程度　当日提示される課題を４～６人程度の小グループで実施）
—与えられたテーマについて５分間自分で考えてからグループワークに入ります。
・個人面接（20分程度）
［第二次選考ポイント］
・模擬授業の内容のまとめと感想の記述
⑴講義テーマ全体の概要、構成される内容について論理的にまとめることができる。
⑵特に印象に残る内容を紹介し、その理由と自らの考え等を感想として述べることができる。
⑶メモ用紙に、講義の要点やキーワードなどをメモできている。
・グループワーク
⑴自分の考えを簡潔に述べることができる。
⑵人の意見を聞くことができ、意見を聞いた上で自分の意見を述べることができる。
⑶人の発言に関心を持ち掘り下げる質問ができる。
⑷笑顔でコミュニケーションを取ろうとする積極的な姿勢がみられる。
・個人面接
提出書類に基づく質疑に適切に答えることができる。

健康・スポーツ科学科

求める人物像
①教育および生涯学習における運動指導現場において、健康・スポーツ教育の充実に貢献しようとする者。
②競技スポーツにおけるジュニア期以降のスポーツ指導・サポート現場において、優れたコーチングとトレーニング指導によって競技力向上に貢献しようとする者。
③地方自治体や企業・民間のスポーツ施設における施設・プログラム管理現場、医療・福祉施設・幼児施設等における運動・フィットネス指導現場において、スポーツ・運動・身体活動を通した健康支援に貢献しようとする者。
④スポーツ関連の企業や団体、スポーツイベントの企画・運営などのスポーツビジネス分野で活躍しようとする者。

〈健康・スポーツ活動アピールタイプ〉と〈教員志望アピールタイプ〉の内、１つを選択して出願すること。

〈健康・スポーツ活動アピールタイプ〉

出願時提出書類
①活動報告書
②活動内容を証明する参考資料（任意）
③入学後の計画書

選考方法
［第一次選考］書類審査
［第一次選考ポイント］
・活動報告書（800字以上～1200字以内）
運動部活動・サークル、地域・民間のクラブ、体育行事、ボランティアなどでスポーツ活動や健康増進に関わる活動に継続的に関わった経験について、活動内容の詳細やそこで得たこと、学んだことについて記すこと。
・活動内容を証明する参考資料（記録、書面、写真、ノートなど）
活動報告書の内容をより理解しやすくするための補完資料があれば提出すること。
・入学後の計画書（800字以上～1200字以内）
将来計画と入学後の学習計画・学習意欲を記すこと。
［第二次選考］（５人程度のグループ単位で行う）
・プレゼンテーション（５分）
・グループディスカッション（30分）
・個人面接（５分）
グループディスカッションでの議論をふまえて、触発されたこと（その理由）。
［第二次選考ポイント］
・プレゼンテーション
提出書類に記述した経験およびそこで得たことをこれから大学でどのように生かしていくか分かりやすく自分のことばでプレゼンテーションをしてください。
※プレゼンテーションは手元にメモをもって実施しても差し支えありませんが、パワーポイントなどのスライドや配布資料は使えません。
・グループディスカッション
グループのメンバーのプレゼンテーションを聞いて考えたことなどをもとに交流します。状況に応じた適切な発言でディスカッションをコントロールできているかがポイントとなります。
・個人面接
グループディスカッションを踏まえて、自分の考えをより深めたり修正したりすることができているかがポイントとなります。

〈教員志望アピールタイプ〉
出願時提出書類
①教職志望理由書
②入学後の計画書

選考方法
［第一次選考］書類審査
［第一次選考ポイント］
・教職志望理由書（800字以上～1200字以内）
中学・高等学校保健体育の教員志望の気持ち、自身の教職への適性について記すこと。
・入学後の計画書（800字以上～1200字以内）
どのような教員になりたいのか、そのような教員になるための入学後の課題や計画を具体的に記すこと。

［第二次選考］（５人程度のグループ単位で行う）
・与えられたテーマ（※）で模擬授業（他のメンバーを生徒役として行う）（５分）
・グループディスカッション（30分）
・個人面接（５分）
グループディスカッションでの議論を踏まえて、触発されたこと（その理由）。

［第二次選考ポイント］

・模擬授業

与えられた時間を使ってテーマに沿った内容で分かりやすい模擬授業を実施してください。

※模擬授業のテーマ：体育の授業で取り上げたいスポーツ種目を一つ選び、高校１年生を対象とした授業の初回の導入部分を５分程度で行ってください。この導入の目的は、これまであまりそのスポーツに親しんでこなかった高校１年生に「面白そうだからやってみたい」と思わせることです。

※模擬授業は実技を伴わない形で行ってください。手元にメモをもって実施しても差し支えありませんが、パワーポイントなどのスライドや配布資料・教具は使えません。

・グループディスカッション

グループのメンバーの模擬授業を受けて考えたことなどをもとに交流します。状況に応じた適切な発言でディスカッションをコントロールできているかがポイントとなります。

・個人面接

グループディスカッションをふまえて、自分の考えをより深めたり修正したりすることができているかがポイントとなります。

スポーツマネジメント学科

求める人物像

①スポーツ関連の企業や団体、スポーツイベントの企画・運営などのスポーツマネジメント分野で活躍しようとする者。

②地方自治体や企業・民間のスポーツ施設における施設・プログラム管理現場、医療・福祉施設・幼児施設等における運動・フィットネス指導現場において、スポーツ・運動・身体活動を通した健康支援に貢献しようとする者。

③教育および生涯学習における運動指導現場において、健康・スポーツ教育の充実に貢献しようとする者。

④競技スポーツにおけるジュニア期以降のスポーツ指導・サポート現場において、優れたコーチングとトレーニング指導によって競技力向上に貢献しようとする者。

出願時提出書類

①活動報告書

②活動内容を証明する参考資料（任意）

③入学後の計画書

選考方法

［第一次選考］書類審査

［第一次選考ポイント］

・活動報告書（800字以上～1200字以内）

運動部活動・サークル、地域・民間のクラブ、体育行事、ボランティアなどでスポーツ活動や健康増進に関わる活動に継続的に関わった経験について、活動内容の詳細やそこで得たこと学んだことについて記すこと。

・活動内容を証明する参考資料（記録、書面、写真、ノートなど）

活動報告書の内容をより理解しやすくするための補完資料があれば提出すること。

・入学後の計画書（800字以上～1200字以内）

将来計画と入学後の学習計画・学習意欲を記すこと。

［第二次選考］

・グループディスカッション（５人程度のグループ単位で30分）

・個人面接（10分）

活動報告書、入学後の計画書、グループディスカッションでの議論をもとにした個人面接。

［第二次選考ポイント］

・グループディスカッション

提示されたスポーツをめぐる諸課題に関する資料をもとに、課題解決に向けたマネジメントのあり方について意見を述べることができる。

グループメンバーの意見を踏まえて積極的に発言ができる。

・個人面接
活動報告書、入学後の計画書、グループディスカッションをもとにした質問に対して、自分の考えを述べることができる。
質疑の中で、自分の考えをより深めたり修正したりすることができる。
※グループディスカッションは手元にメモをもって実施しても差し支えありませんが、パワーポイントなどのスライドや配布資料は使えません。

生活環境学科

求める人物像

・社会を理解し、生活環境学に関する専門性を身に付けるために必要な基礎学力を有している者。
（工業科、商業科、美術科、防災科、ファッション科含む）
・身の回りにあり生活を形づくるものごとを、連続した生活環境として捉え、広い視野を持って学ぶための思考力を有し、生活環境に関して、文化的・社会的・科学的・工学的・造形的な観点からの基礎的・専門的な知識を習得しようとする姿勢を有している者。
・生活環境を構成する事象に対し、定量的・論理的・創造的なアプローチから学び、生活環境における課題を発見・分析し、その解決策・改善策を提案し、社会に還元しようとする意欲を有している者。

出願時提出書類

①入学後の学びの抱負

選考方法

［第一次選考］書類審査
［第一次選考ポイント］
・入学後の学びの抱負（800字以上～ 1000字以内）
根拠となった活動実績や、本人の努力を客観的に証明できるものを添付し提出してください。
（表彰状・資格証明書の写し・写真・イラストも含み、形式は問いません。）
デジタルデータの場合は参照用 URL などを併記してください。
［第二次選考］
・プレゼンテーション（６分、準備時間を別に60分設けます）
生活環境に関するテーマを当日発表します。
そのテーマについて模造紙に表現し、プレゼンテーションしてください。
※持ち物は特に必要ありません。
・口頭試問（14分）
個人で実施します。プレゼンテーションの内容についても質問します。
［第二次選考ポイント］
・プレゼンテーション
生活環境に関わる興味関心、論理性、創造性、表現力、粘り強さなどを総合的に評価します。
・口頭試問
知識よりも、生活に関わる物事についての関心・思考力について評価します。

社会情報学科〔情報メディア専攻〕

求める人物像

①文系・理系という枠にとらわれず、高等学校等において幅広い教科・科目を履修し、確かな基礎知識を備えている。
② ICT 社会におけるデータの活用や情報技術に多角的な視点から興味や関心を持ち、社会への深い洞察力と多様なメディアを使いこなす技能を習得する能力の基盤を有している。
③情報化社会の健全な発展に貢献したいという意欲を持っている。
④豊かな感性と公平な視点を持ち、多様な人々と協働して学ぶ態度を有している。

出願時提出書類

①志望理由書
②自己推薦書
③学習活動（探究学習、海外留学など）報告書
④学習活動をもとにした大学入学後の学びの計画書

選考方法

［第一次選考］書類審査
［第一次選考ポイント］
・志望理由書（400字以上～ 600字以内）
・自己推薦書（400字以上～ 600字以内）
・学習活動（探究学習、海外留学など）報告書（800字以上～ 1200字以内）
探究学習や海外留学について記述すること。また、学習活動報告書について画像や写真などよく分かる内容があれば添付すること。

次の⑴～⑶について確認します。
⑴目的や目標の明確さ
探求や留学の目的や目標が明確に説明されているかどうかを確認します。
⑵活動内容の詳細さ
活動の内容が詳細に説明されているかどうかを確認します。
⑶成果や効果の評価
活動の成果や効果について、評価がなされているかどうかを確認します。
・学習活動をもとにした大学入学後の学びの計画書（400字以上～ 600字以内）
学習活動をもとにした、大学入学後の学習計画について記述してください。
［第二次選考］
・学習活動報告書に記載した内容についてのプレゼンテーション（10分）
・個人面接（20分）
［第二次選考ポイント］
次の⑴～⑷、および本学科の「求める人物像」に合致するかどうかについて評価します。
⑴コミュニケーション能力
聞き手に対する言語および非言語の表現力、聞き手との質疑応答のスムーズさ、適切さなどを評価します。
⑵プレゼンテーションの構成
プレゼンテーションの内容がテーマに沿って適切に構成され、明確に伝えられているかどうかを評価します。
⑶ビジュアルデザイン
プレゼンテーションの資料やスライドのデザインが、適切で分かりやすく、視覚的に印象的であるかどうかを評価します。
⑷面接では第一次選考資料・第二次選考資料に関する質疑応答も評価します。
［プレゼンテーションについての注意点］
・プロジェクタ・スクリーンは大学が用意します。
・自身で作成したプレゼンテーション資料を格納した PC やタブレット型端末などを持参してください。大学が用意した HDMI・USB-C ケーブルでディスプレイに接続してください。
・パワーポイントのスライド等を用意する場合は印刷して配布資料として2名分用意してください。

社会情報学科〔情報サイエンス専攻〕

求める人物像

①文系・理系という枠にとらわれず、高等学校等において幅広い教科・科目を履修し、確かな基礎知識を備えている。
② ICT 社会におけるデータの活用や情報技術に多角的な視点から興味や関心を持ち、社会への深い洞察力と多様なメディアを使いこなす技能を習得する能力の基盤を有している。
③情報化社会の健全な発展に貢献したいという意欲を持っている。
④豊かな感性と公平な視点を持ち、多様な人々と協働して学ぶ態度を有している。

出願時提出書類

①志望理由書
②自己推薦書
③学習活動（探究学習、海外留学など）報告書
④学習活動をもとにした大学入学後の学びの計画書

選考方法

［第一次選考］書類審査
［第一次選考ポイント］
・志望理由書（400字以上～ 600字以内）
・自己推薦書（400字以上～ 600字以内）
・学習活動（探究学習、海外留学など）報告書（800字以上～ 1200字以内）
探究学習や海外留学について記述すること。また、学習活動報告書について画像や写真などよく分かる内容があれば添付すること。

次の⑴～⑶について確認します。
⑴目的や目標の明確さ
探求や留学の目的や目標が明確に説明されているかどうかを確認します。
⑵活動内容の詳細さ
活動の内容が詳細に説明されているかどうかを確認します。
⑶成果や効果の評価
活動の成果や効果について、評価がなされているかどうかを確認します。
・学習活動をもとにした大学入学後の学びの計画書（400字以上～ 600字以内）
学習活動をもとにした、大学入学後の学習計画について記述してください。
［第二次選考］
・学習活動報告書に記載した内容についてのプレゼンテーション（10分）
・個人面接（20分）
［第二次選考ポイント］
次の⑴～⑷、および本学科の「求める人物像」に合致するかどうかについて評価します。
⑴コミュニケーション能力
聞き手に対する言語および非言語の表現力、聞き手との質疑応答のスムーズさ、適切さなどを評価します。
⑵プレゼンテーションの構成
プレゼンテーションの内容がテーマに沿って適切に構成され、明確に伝えられているかどうかを評価します。
⑶ビジュアルデザイン
プレゼンテーションの資料やスライドのデザインが、適切で分かりやすく、視覚的に印象的であるかどうかを評価します。
⑷面接では第一次選考資料・第二次選考資料に関する質疑応答も評価します。
［プレゼンテーションについての注意点］
・プロジェクタ・スクリーンは大学が用意します。
・自身で作成したプレゼンテーション資料を格納した PC やタブレット型端末などを持参してください。大学が用意した HDMI・USB-C ケーブルでディスプレイに接続してください。
・パワーポイントのスライド等を用意する場合は印刷して配布資料として2名分用意してください。

食物栄養学科

求める人物像

①栄養学の基本となる基礎学力（化学・生物）を有し、将来、管理栄養士の有資格者として医療の分野あるいは、健康・福祉・スポーツ・食品開発・その他の分野で社会貢献したいという強い意思がある。

②医療や健康・福祉・スポーツ・食品開発などに携わる者としての使命感と倫理観を有し、思いやりと協調性、コミュニケーション能力を身につけようとする姿勢がある。

③科学的な思考力と問題提起・解決能力を身につけることの重要性を理解できる。

④自ら学ぼうとする強い意欲、地道に努力する勤勉さがある。

出願時提出書類

①志望理由書

②自己推薦書

選考方法

［第一次選考］書類審査

［第一次選考ポイント］

・志望理由書（400字以上～ 500字以内）

本学科の志望動機・志望理由を記すこと。

・自己推薦書（400字以上～ 500字以内）

高校時代の学習、諸活動を通じて、自らの成長のために努力したことを記すこと。

本学が求める人物像を踏まえて記されているか。

食物栄養学の学びを理解し、本学で学ぶ意欲が論理的かつ具体的に記されているか。

高校時代の経験が食物栄養学での学びにどのように結びつくのか、根拠となるエピソードをもとに具体的に記されているか。

［第二次選考］第一次選考の内容を合わせて総合的・多面的に評価します。

・小論文（60分）

食（栄養）と健康に関するテーマを当日提示する。

・個人面接（20分）

第一次選考で提出した書類および小論文に記した内容等に関して問う。

［第二次選考ポイント］

・小論文

課題の内容を正しく理解し、自分の考えを論理的に記述できているか。

・個人面接

自分の意見を積極的に伝えることができるか。

面接官の質問を正しく理解し、対話がスムーズに進むか。

身だしなみ、話し方（話すスピード、声の大きさ、目線等）は適切か。

食創造科学科

求める人物像

①社会を理解し、食創造科学に関する専門性を身につけるために必要な基礎学力を有している。

②自然科学の基礎知識に加え、高等学校等で学習する幅広い基礎学力を有している。

③自他を尊重し、失敗を恐れず挑戦するしなやかな姿勢を身につける意欲を有している。

④高度な問題解決能力と実践的能力を身につけた「食の専門家」として、食産業界の発展に貢献しようとする意欲を有している。

⑤自ら考えて表現すること、新たな価値を創造し、多様な人々と協働することへの意欲を有している。

⑥豊かな発想と高いコミュニケーション能力を活かして、新しい食を創造し、人々の豊かで健康的な食生活に貢献しようという意志を有している。

出願時提出書類
①志望理由書
②自己推薦書

選考方法
［第一次選考］書類審査
［第一次選考ポイント］
・志望理由書（800字以上～ 1000字以内）
食創造科学科で何を学び、卒業後は何を目指したいかが明確であること。
・自己推薦書（800字以上～ 1000字以内）
高校までの学習や部活動で得られた知識や経験について、食創造科学科の入学者受入れ方針と関連させて記載されていること。

［第二次選考］
・小論文（60分）（800字程度）
題材は当日に提示する。
・集団面接（20分）
［第二次選考ポイント］
・小論文
自分の意見を的確に述べていること。
・集団面接
自分の意見を積極的に伝えることができるか。
面接官の質問を正しく理解し、対話がスムーズに進むか。
身だしなみ、話し方（話すスピード、声の大きさ、目線等）は適切か。

演奏学科

求める人物像
①幅広い教養と音楽に関する基礎知識および専門実技の基礎技術を有している者。
②音楽を深く愛する心と柔軟な感性を持ち、高度な専門的教養と演奏技術の習得に向けて研鑽を積む積極性を有している者。
③人に感銘を与える演奏について自ら考え高い芸術性を希求し、国際感覚を備えた音楽に関する専門家を目指す意欲を有している者。

出願時提出書類
①志望理由書
②音楽プロフィール
音楽や舞台経験に関する活動を述べてください（部活動実績を含む）。また、コンクールの受賞歴等の特記事項があれば箇条書きで記載し、証明できる資料を添付してください（表彰状のスキャンまたはスクリーンショット、コンクールのホームページの結果画面のスクリーンショットなど形式は問いません）。
③実技試験申告書（P.27 ～ 28を確認の上、P.29を印刷して必要事項を記入し、郵送してください。）
第一次選考では使用しません。第二次選考の実技試験で使用します。
④伴奏用楽譜（声楽とミュージカル歌唱のみ。P.27を確認し郵送してください。）
第一次選考では使用しません。第二次選考の実技試験で使用します。

選考方法
［第一次選考］書類審査
［第一次選考ポイント］
・志望理由書（800字以上～ 1000字以内）
・音楽プロフィール
文字数制限はありませんが、コンクールの受賞歴などは改行し箇条書きにするなど簡潔に記載してください。

［第二次選考］
・実技試験（詳細は P.27 ～ 28を確認してください）
・音楽全般に関する口頭試問（15分）
［第二次選考ポイント］
・実技試験
実技試験課題に対する理解力、表現力、技術力、熱意を評価する。
・音楽全般に関する口頭試問
作品や作曲家について、楽典について、演奏した曲についてなど試問する。

応用音楽学科

求める人物像
①音楽に関する基本的な知識と演奏技術を備え、高等学校等での各教科等における基礎学力を有している者。
②音楽と人間に関わる幅広い領域に興味関心を持ち、音楽を通して社会に寄与したいという熱意を有している者。
③多様な人々と協同して学ぶ態度を備え、本学科での学修を通して得た知識や技能を活かした職業に就き、それぞれの分野において活躍し、社会に貢献したいという意志を持っている者。

出願時提出書類
①志望理由書
②音楽プロフィール
・音楽に関する活動を述べてください（部活動実績を含む）。また、コンクールの受賞歴等の特記事項があれば箇条書きで記載し、証明できる資料を添付してください（表彰状のスキャンまたはスクリーンショット、コンクールのホームページの結果画面のスクリーンショットなど形式は問いません）。
・これまでに行った音楽に関する研究があればそのテーマと概要を簡潔に記載してください。
③実技試験申告書（P.28を確認の上、P.29を印刷して必要事項を記入し、郵送してください。）
・第一次選考では使用しません。第二次選考の実技試験で使用します。
④伴奏用楽譜（声楽のみ。P.28を確認し郵送してください。）
・第一次選考では使用しません。第二次選考の実技試験で使用します。

選考方法
［第一次選考］書類審査
［第一次選考ポイント］
・志望理由書（800字以上～ 1000字以内）
・音楽プロフィール
文字数制限はありませんが、コンクールの受賞歴などは改行し箇条書きにするなど簡潔に記載してください。
［第二次選考］
・実技試験（詳細は P.28を確認してください）
・音楽全般に関する口頭試問（15分）
［第二次選考ポイント］
・実技試験
作品に対する理解力、表現力、技術力、熱意を評価する。
・音楽全般に関する口頭試問
音楽と人との関係について、演奏した曲について、自分が好きな音楽についてなど試問する。

薬学科

求める人物像
①本学科のアドミッション・ポリシーを理解し合致する者。
②将来薬剤師有資格者として、医療や健康・福祉その他の分野で社会貢献したいという強い意欲がある者。

出願時提出書類
①志望理由書
②自己推薦書

選考方法
［第一次選考］書類審査
［第一次選考ポイント］
・志望理由書（800字以上～1000字以内）
本学科の志望動機、志望理由。
・自己推薦書（800字以上～1000字以内）
高校時代の学習、諸活動を通じて、自らの成長のために努力したこと。
［第二次選考］第一次選考の内容を合わせて総合的・多面的に評価します。
・課題レポート（60分）
薬・医療・薬剤師等に関する文章を読み、自分の考えを時間内に記述する。
・個人面接（15分）
第一次選考で提出した書類および課題レポートに記した内容等に関して問う。
［第二次選考ポイント］
・課題レポート
課題の内容を正しく理解し、自分の考えを論理的に記述できているか。
・個人面接
自分の意見を積極的に伝えることができるか。
面接官の質問を正しく理解し、対話がスムーズに進むか。
身だしなみ、話し方（話すスピード、声の大きさ、目線等）は適切か。

健康生命薬科学科

求める人物像
①十分な基礎学力を有するとともに、自然科学に興味を持っており、自ら学ぼうとする強い意欲、地道に努力する勤勉さがある。入学前には、学修の基礎となる化学、生物、国語、外国語、数学の基礎的な知識を幅広く身につけていることを求める。
②科学的な思考力・問題解決能力や真実に基づく考察の重要性を理解できる。
③薬学研究に取組み、研究成果を通して、人類の健康と福祉に貢献したいという強い意志がある。もしくは、中学・高等学校の理科教員として、後継者育成活動に寄与したいという強い意志がある。

出願時提出書類（適性検査を含む）
①自己推薦書
・第一次選考ポイント⑶について資格取得に関して記述した場合、証明する書類を添付すること。

選考方法
［第一次選考］書類審査
［第一次選考ポイント］
・自己推薦書（1000字以上～ 1600字以内）
⑴大学を卒業して社会に出るとき（社会人になるとき）、どのような目標を持っているか。
⑵⑴を達成するために本学でどのような目標を持っているか。入学後に学びたい（学内外で活動したい）内容とその計画について記すこと。
⑶高等学校等に入学してから現在までの学校内外の諸活動（勉学をはじめ、ホームルーム活動、生徒会活動、クラブ・部活動、ボランティア活動、留学・海外経験、資格取得、探究活動の成果など）について記し、そのうちもっともエネルギー（努力や時間）を傾けた活動について、その理由およびそこから学んだことを記すこと。
⑷各段落の冒頭に指示された番号⑴～⑶を記してから本文を記すこと（文字数の配分は任意）

［第二次選考］
・医薬品、化粧品、健康食品および周辺領域に関する小論文（60分）
・個人面接（15分）
［第二次選考ポイント］
・小論文
課題の内容を正しく理解し、自分の考えを論理的に記述できていること。
・個人面接
自己推薦書の内容に関する質問に対して、その意図を正しく理解し、的確に自分の考えを述べていること。

環境共生学科

求める人物像

環境の保全（環境保全系）、環境の維持に向けた社会制度や協働体制の構築（環境共生系）、環境資源の利用（環境資源応用系）など、人と環境の持続可能な共生社会をつくるための課題に取り組む意欲を有する者。

出願時提出書類

①志望理由書
②自己推薦書：⑴または⑵のどちらか１つを選んで記述してください。
⑴中学校から高校までに取り組んだ活動。例えばボランティア活動、地域の課題や改善に意欲をもって取り組んだことについて記述してください。
⑵入学後に学びたいこと、卒業後に取り組みたい夢や目標を記述してください。

選考方法

［第一次選考］書類審査
［第一次選考ポイント］
・志望理由書（400字以上～ 600字以内）
⑴出願するに至った理由を記述してください。
⑵環境共生学科の学びについて記述してください。
・自己推薦書（400字以上～ 600字以内）

［第二次選考］
・個人面接（10分）
［第二次選考ポイント］
・個人面接
自己推薦書で記述した内容について２～３分程度で話してもらいます。

経営学科

求める人物像

①知識
社会を理解し、経営学に関する専門性を身につけるために必要な基礎学力を有している者。
②姿勢
自他を尊重し、失敗を恐れず挑戦するしなやかな姿勢を身につける意欲を有している者。
③行動
自ら考えて表現すること、新たな価値を創造し、多様な人々と協働することへの意欲を有している者。

出願時提出書類

①志望理由書
②自己推薦書
③学習活動（探究学習、海外留学など）報告書
④学習活動をもとにした大学入学後の学びの計画書

選考方法

［第一次選考］書類審査

［第一次選考ポイント］

・志望理由書（400字以上～600字以内）

・自己推薦書（400字以上～600字以内）

・学習活動（探究学習、海外留学など）報告書（800字以上～1200字以内）

探究学習や海外留学について記述すること。また、学習活動報告書について画像や写真等よく分かる内容があれば添付すること。

次の⑴～⑶について確認します。

⑴目的や目標の明確さ

探求や留学の目的や目標が明確に説明されているかどうかを確認します。

⑵活動内容の詳細さ

活動の内容が詳細に説明されているかどうかを確認します。

⑶成果や効果の評価

活動の成果や効果について、評価がなされているかどうかを確認します。

・学習活動をもとにした大学入学後の学びの計画書（400字以上～600字以内）

学習活動をもとにした、大学入学後の学習計画について記述してください。

［第二次選考］

・学習活動報告書に記載した内容についてのプレゼンテーション（10分）

・個人面接（20分）

［第二次選考ポイント］

次の⑴～⑷、および本学科の「求める人物像」に合致するかどうかについて評価します。

⑴コミュニケーション能力

聞き手に対する言語および非言語の表現力、聞き手との質疑応答のスムーズさ、適切さなどを評価します。

⑵プレゼンテーションの構成

プレゼンテーションの内容がテーマに沿って適切に構成され、明確に伝えられているかどうかを評価します。

⑶ビジュアルデザイン

プレゼンテーションの資料やスライドのデザインが、適切で分かりやすく、視覚的に印象的であるかどうかを評価します。

⑷面接では第一次選考資料・第二次選考資料に関する質疑応答も評価します。

［プレゼンテーションについての注意点］

・発表方法は自由ですが、PC やタブレット型端末の貸出やスクリーンの用意はありません。

・PC やタブレット型端末などは持参されても使用できません。

・パワーポイントのスライド等を用意する場合は印刷して配布資料として 2 名分用意してください。

音楽学部実技について

1．実技試験について

■実技は暗譜で演奏してください。ただし、管楽器（フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、サクソフォン、ホルン、トランペット、トロンボーン）のみ暗譜の必要はありません。
■ピアノの試験は全て反復なしで演奏してください。
■声楽とミュージカル歌唱のピアノ伴奏者は本学で用意します。管弦楽器には伴奏がつきません。
■「実技試験申告書」は出願の際、提出してください。記載順に演奏してください。
■時間の都合により演奏途中でカットする場合があります。

2．実技試験課題について

演奏学科

声楽・ミュージカルコース

声楽専修　任意の楽曲２曲を暗譜で歌唱してください。２曲とも伴奏用楽譜にブレスの箇所を記入して、出願時に提出してください。また、楽譜の余白部分に受験生氏名を記入してください。

ミュージカル専修

課題①および課題②を行ってください。

課題①

ミュージカル歌唱　自由曲１曲
（注）日本で上演されているミュージカルで楽譜が出版されているものに限ります（映画上映のみの作品は認めない）。自作曲不可。
ミュージカル曲を暗譜して歌唱してください（言語は問わない。ただし、楽譜に記載の歌詞と違う言語で歌唱する場合は歌詞を書き込むこと）。ピアノ伴奏の付いた楽譜（コードのみの伴奏譜は不可）にブレスの箇所を記入して、出願時に提出してください。また、楽譜の余白部分に受験生氏名を記入してください。

課題②

以下の３種類から１つ選択してください。

【ミュージカル歌唱】
自由曲1 曲（ただし、課題①以外の楽曲）
（注）日本で上演されているミュージカルで楽譜が出版されているものに限ります(映画上映のみの作品は認めない)。自作曲不可。
ミュージカル曲を暗譜して歌唱してください（言語は問わない。ただし、楽譜に記載の歌詞と違う言語で歌唱する場合は歌詞を書き込むこと）。ピアノ伴奏の付いた楽譜（コードのみの伴奏譜は不可）にブレスの箇所を記入して、出願時に提出してください。また、楽譜の余白部分に受験生氏名を記入してください。

【ダンス】
下記の QR コードを読み取り、動画の振り付けを覚えて踊ってください。（６月30日公開）

【演技】
下記の QR コードを読み取り、PDF ファイルの台詞を暗唱して表現してください。（６月30日公開）

https://www.mukogawa-u.ac.jp/~nyushi/practical_skills/music/

ピアノ・管弦楽器コース（ピアノ・ヴァイオリン・ヴィオラ・チェロ・フルート・オーボエ・クラリネット・ファゴット・サクソフォン・ホルン・トランペット・トロンボーン）

ピアノ専修　J.S.Bach, J.Haydn, W.A.Mozart, L.v.Beethoven, F.Schubert, F.Mendelssohn, F.Chopin, R.Schumann, F.Liszt, J.Brahms, C.Saint-Saëns, E.Chabrier, E.Grieg, G.Fauré, C.Debussy, A.Scriabin, S.Rachmaninoff, M.Ravel, B.Bartók, S.Prokofieff より１人の作曲家を選び、１～数曲（合計５分以上）演奏してください。

＊ソナタの場合は、選曲する楽章も明記してください。

＊変奏曲の抜粋は認めません。

管弦楽器専修　任意の楽曲（１～数曲）を合計３分以上演奏してください。

応用音楽学科

実技は声楽、ピアノ、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、サクソフォン、ホルン、トランペット、トロンボーンの中から1つを選び、次にあげる課題を演奏してください。

・声楽で受験する場合

次にあげる曲から1曲を選び演奏してください。伴奏用楽譜にブレスの箇所を記入して、出願時に提出してください。楽譜の余白部分に受験生氏名を記入してください。

成田為三：浜辺の歌　2番まで　ヘ長調、変イ長調

中田喜直：夏の思い出　2番まで　ニ長調、ホ長調、ヘ長調

山田耕筰：待ちぼうけ　3番まで　ニ長調

山田耕筰：赤とんぼ　1,2,4番　変ホ長調

G. ジョルダーニ：Caro mio ben（カーロ・ミオ・ベン）　ニ長調、変ホ長調

G. パイジェッロ：Nel cor più non mi sento（うつろな心）　ヘ長調、ト長調

F. シューベルト：An die Musik（楽に寄す）　ハ長調、ニ長調

㊟イタリア歌曲、ドイツ歌曲は原語で演奏してください。

・ピアノ、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、サクソフォン、ホルン、トランペット、トロンボーンで受験する場合任意の楽曲1～数曲（合計2分以上）を演奏してください。

※楽譜が出版されているものに限ります。自作曲不可。

入学後の授業について

・演奏学科では、受験した実技が入学後の主専実技（個人レッスン）となります。ダンスや演技の主専実技（個人レッスン）は開講されません。

・応用音楽学科では、声楽とピアノの個人レッスンがあります。弦楽器や管楽器の個人レッスンは開講されません。

MUKOJO未来教育総合型選抜

10月19日（日）

2026年度
武庫川女子大学音楽学部
実技試験申告書

※ここには何も記入しないでください。

フリガナ			
氏　名		メールアドレス	
出身高校等	（　　）都道府県（　　）立（　　）高等学校 中等教育学校		
住　所	〒		
*自宅電話番号	（　　）　－	*緊急連絡先（携帯電話等）	（　　）　－

＊出願書類に不備があった場合の本学からの問い合わせ用電話番号です。

写真貼付
縦4.0cm×横3.0cm
〔カラー写真（白黒不可）〕
1．出願前３ヶ月以内に撮影したもの
2．正面・上半身・無帽
3．写真裏面には志望学科と氏名を必ず記入してください。

受験する実技および受験曲

演奏学科 実技	受験する実技　該当番号記入欄（　　） ①声楽　②ミュージカル　③ピアノ　④ヴァイオリン　⑤ヴィオラ　⑥チェロ　⑦フルート　⑧オーボエ ⑨クラリネット　⑩ファゴット　⑪サクソフォン　⑫ホルン　⑬トランペット　⑭トロンボーン	
	①、③～⑭　曲目および作品番号（原語で記入すること）	作曲者名（原語で記入すること）
	②　歌唱の曲目および演技またはダンスの区別※	ミュージカル作品名
	歌唱❶	
	□歌唱❷	
	□演技 ／ □ダンス	

※歌唱❷、演技、ダンスのうち１つを選択して□に✓を入れてください。

応用音楽学科 実技	受験する実技の種類　該当番号記入欄（　　） ①声楽　②ピアノ　③ヴァイオリン　④ヴィオラ　⑤チェロ　⑥フルート　⑦オーボエ　⑧クラリネット ⑨ファゴット　⑩サクソフォン　⑪ホルン　⑫トランペット　⑬トロンボーン	
	曲目	作曲者名

〈注〉声楽およびミュージカルで受験する者は、伴奏用楽譜にブレスの箇所を記入して、出願時に提出してください。
また、楽譜の余白部分に受験生氏名を記入してください。

6．Web 受験票について

第一次選考の Web 受験票は2025年10月 2 日（木）午後から、第二次選考は2025年10月14日（火）午後から「【武庫川女子大学】」受験票確認のお知らせ」をメールします。メール到着後、インターネット出願サイトの出願確認画面ページにて Web 受験票を確認してください。

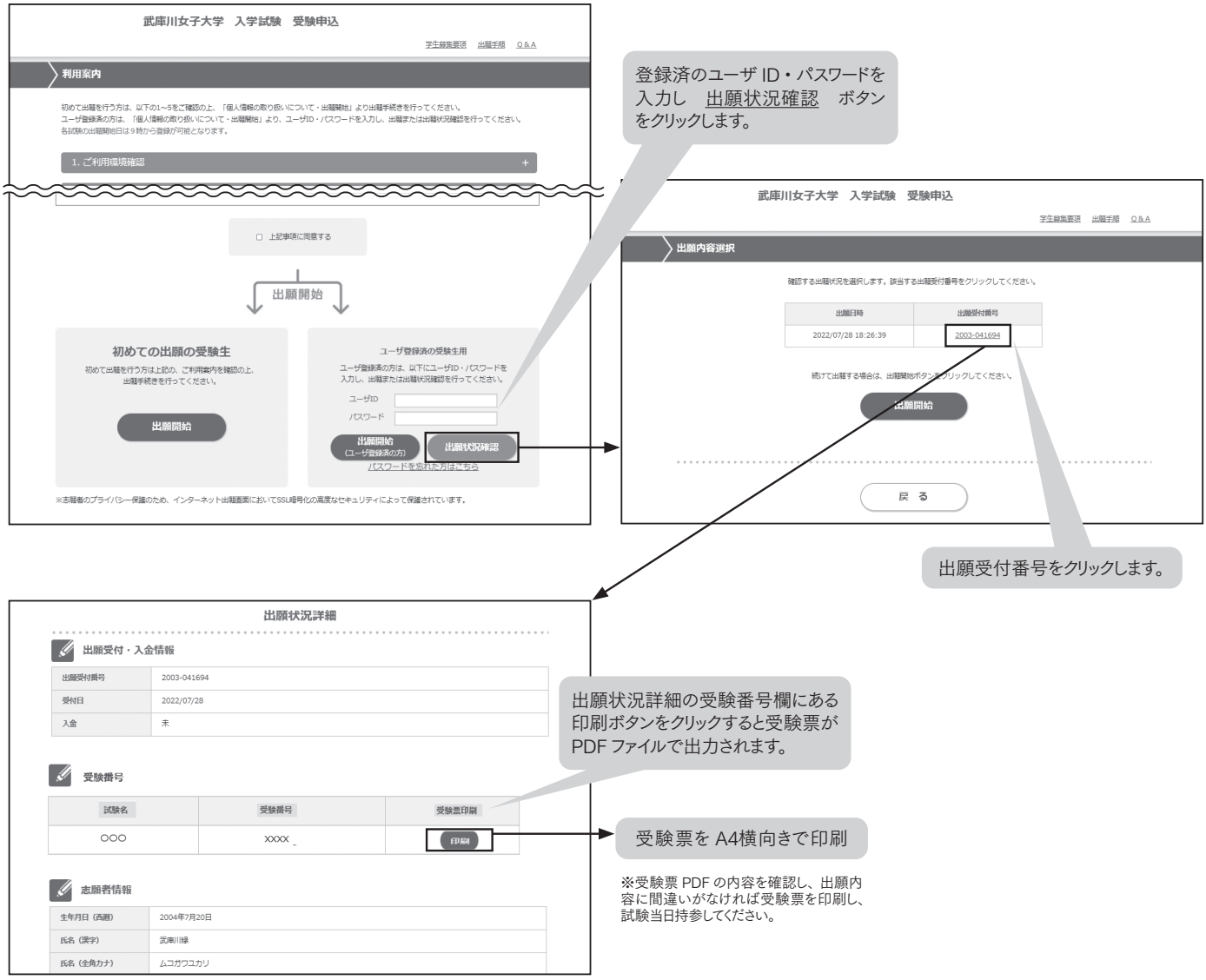
※第一次選考の合否照会には受験番号が必要です。第一次選考の受験票で受験番号を確認してください。
第二次選考当日は Web 受験票を必ず印刷（A4横向き）し持参してください（携帯電話等の提示では受験できません）。

※受験票を印刷したら、出願した学科〔専攻〕および試験日等を必ず確認してください。出願した内容〔出願した学科〔専攻〕および試験日〕は一切変更することができません。出願した内容と異なる場合は、本学アドミッションセンターに連絡してください。

※自宅にプリンターがない場合はコンビニエンスストア等を利用し、印刷してください。

試験区分	Web 受験票配信期間
第一次選考	2025年10月 2 日（木）午後～ 2025年10月19日（日）17：00
第二次選考	2025年10月14日（火）午後～ 2025年11月 7 日（金）17：00

〈Web 受験票確認・出力方法〉



７．合格発表

（１）合否の判定結果の通知方法は第一次選考と第二次選考で異なります。

〈第一次選考〉本学ホームページの受験生サイトの「合否照会」にて、結果発表日の正午から2025年10月19日（日）17：00まで合否照会が可能です。不合格者には書類審査結果の通知と第二次選考分入学検定料返還願を郵便にて発送します。合格者には郵便での通知はありません。本学ホームページの受験生サイトの「合否照会」を確認してください。

〈第二次選考〉郵便の発送をもって本人宛に通知します（合格発表日前日の夕方に発送する予定ですが、郵便事情などにより、到着が合格発表日の翌日以降になる場合もあります）。

また本学ホームページの受験生サイトの「合否照会」からも合格発表日の10：00から2025年11月７日（金）17：00まで合否照会が可能です。

（２）学内掲示は行いません。

（３）判定結果の問い合わせには一切応じられません。

（４）結果は、受験生が出身校への通知を許可している場合、後日、出身学校長宛にも通知します。

第一次選考書類審査結果発表日	2025年10月11日（土）
第二次選考合格発表日	2025年11月１日（土）

８．入学検定料の返還について

（１）第一次選考不合格の場合

第二次選考入学検定料20,000円を返還します。

判定通知書と一緒に入学検定料返還に必要な書類を同封します。必要事項を記入し、提出期間内に必ず提出してください。

返還申出期間　2025年10月11日（土）～ 2025年10月24日（金）（17：00必着）厳守

返還期間　2025年12月１日（月）～ 2025年12月19日（金）

（２）本学の公募制推薦入試に出願している方で第二次選考に合格の場合

本学の公募制推薦入試の入学検定料を返還します。返還については次の期間内に文書で申し出てください。詳しくは合否判定通知書に同封する書類（合格者・父母等の皆さまへ）をご確認ください。

返還申出期間　2025年11月１日（土）～ 2025年11月14日（金）（17：00必着）厳守

返還期間　2026年２月２日（月）～ 2026年２月25日（水）

提出期間内に所定の書類を提出されない場合は、入学検定料は返還できません。

提出先

『〒663-8558（左記郵便番号があれば住所記入不要）

武庫川女子大学　アドミッションセンター』宛

簡易書留・速達にて郵送してください。封筒は各自で用意し、「MUKOJO 未来教育総合型選抜　検定料返還手続き書類在中」と赤色で明記してください。（書類を受理した旨の通知は発送しません）。

インターネット出願方法について

《注意事項》

出願期間内（P. 5 参照）に STEP 4 ：調査書等の郵送を必ず完了できるように、ご利用の郵便局窓口受付時間を事前に確認して、早めに手続きをしてください。

出願手順

STEP 1　武庫川女子大学のホームページ（受験生サイト）にアクセスしてください。

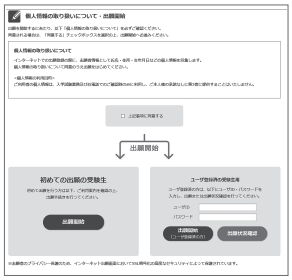
https://www.mukogawa-u.ac.jp/~nyushi/
⇨ 『MUKOJO 未来教育総合型選抜』ページをクリック

STEP 2　出願登録をしてください。

画面の指示に従い、必要な項目や出願したい学科などを入力してください。〈初めて出願する方〉用と、ユーザ登録をされた方〈ユーザ登録済の受験生用〉と分かれていますので、該当するボタンをクリックしてください。

ユーザ登録は必須です。ユーザ登録により、登録した出願状況の確認ができます。［注意］入学検定料を納入した後の志願先学科の変更は認められませんので、ご注意ください。

〈例〉

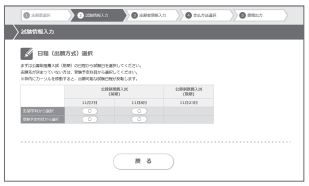


（〈例〉の画面は実際の画面と異なる場合があります）

推奨環境

〈パソコン〉
- Windows10以上
- Microsoft Edge バージョン135.0以上
- Google Chrome バージョン135.0以上
- mac OS 15.4以上
- Safari バージョン18.4以上

〈スマートフォン・タブレット〉
- Android 15.0以上
- Google Chrome バージョン135.0以上
- iOS 18.4以上
- Safari バージョン18.4以上



①試験方式画面（イメージ）

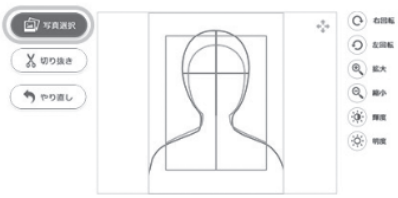
②志願先学科選択画面（イメージ）

③志願者情報登録画面（イメージ）

志願者情報や顔写真のアップロード後、「JBS 連携用番号」が表示されますので、控えてください。
※お支払い番号とは異なります（STEP3を参照してください）。

	ユーザーID	パスワード	JBS連携用番号
ユーザ登録は必須です。必ず控えてください。			

顔写真のアップロード方法



①「写真選択」ボタンをクリックして証明写真を選択してください。
※ファイル形式は JPEG のみ対応となります。

②写真をサイズや位置などを修正して切り抜き用の枠に合わせてください。

③「切り抜き」ボタンをクリックして証明写真を作成してください。

④失敗した場合はやり直してください。

以下の【不適当な写真例】をご確認の上、適切な写真をご用意ください。

【不適当な写真例】

①近すぎる（顔の割合が大きすぎる）、あるいは遠すぎる（顔の割合が小さすぎる）もの
②自撮りの腕が写りこんでいるもの
③加工アプリで撮影したもの
④輪郭を削る、目を大きくするなど、加工を行っているもの
⑤カラーコンタクト（ディファイン含む）を装着しているもの
⑥照明がメガネに反射したもの
⑦色付きのメガネやサングラスを装着しているもの

不適当な顔写真がアップロードされた場合、再度手続きが必要となり、ご連絡を差し上げることがあります。
アップロードされた写真は許可なく入学試験および学生証発行関係業務以外では使用いたしません。

STEP 3 入学検定料のお支払いをしてください。

入学検定料の他に、サービス利用料（一律1,000円）が必要です。

① クレジットカード

② ネットバンキング

画面表示に従ってお支払いを完了してください

③ コンビニエンスストア

④ ATM（ペイジー）

店舗・ATMでお支払いへ
コンビニ・ATMでのお支払いに必要なお支払い情報を取得します

（注）未入金の状態では、出願は完了していません。必ず、お支払い手続きを済ませてください。

③コンビニエンスストア・**④ATM（ペイジー）**でお支払いされる方〔ご注意ください〕

コンビニ・ATM でのお支払い時に必要となるお支払い情報は、忘れずお持ちください。各コンビニ、ATM により必要な情報（番号）が異なります。

番号を控えるために下の表をご利用ください。

セブンイレブン	払込票番号		
ローソン・ミニストップ	お支払い受付番号		
	お客様電話番号		
ファミリーマート	収納番号	（左５桁）	20020
		（右12桁）	
デイリーヤマザキ	決済番号		
セイコーマート	お支払い受付番号		
	電話番号		
ATM（Pay-easy利用ATM）	収納機関番号		58171
	お客様番号		
	確認番号		

STEP 4　調査書等（および出願確認票）を郵送してください。

STEP３で入学検定料をお支払いの後、再度インターネット出願にログイン（P.32 STEP２<ユーザー登録済の受験生用>からログイン）してください。提出用書類印刷ボタンをクリックし、封筒貼付用紙および出願確認票を印刷してください。（本人控はお手元で保管してください）

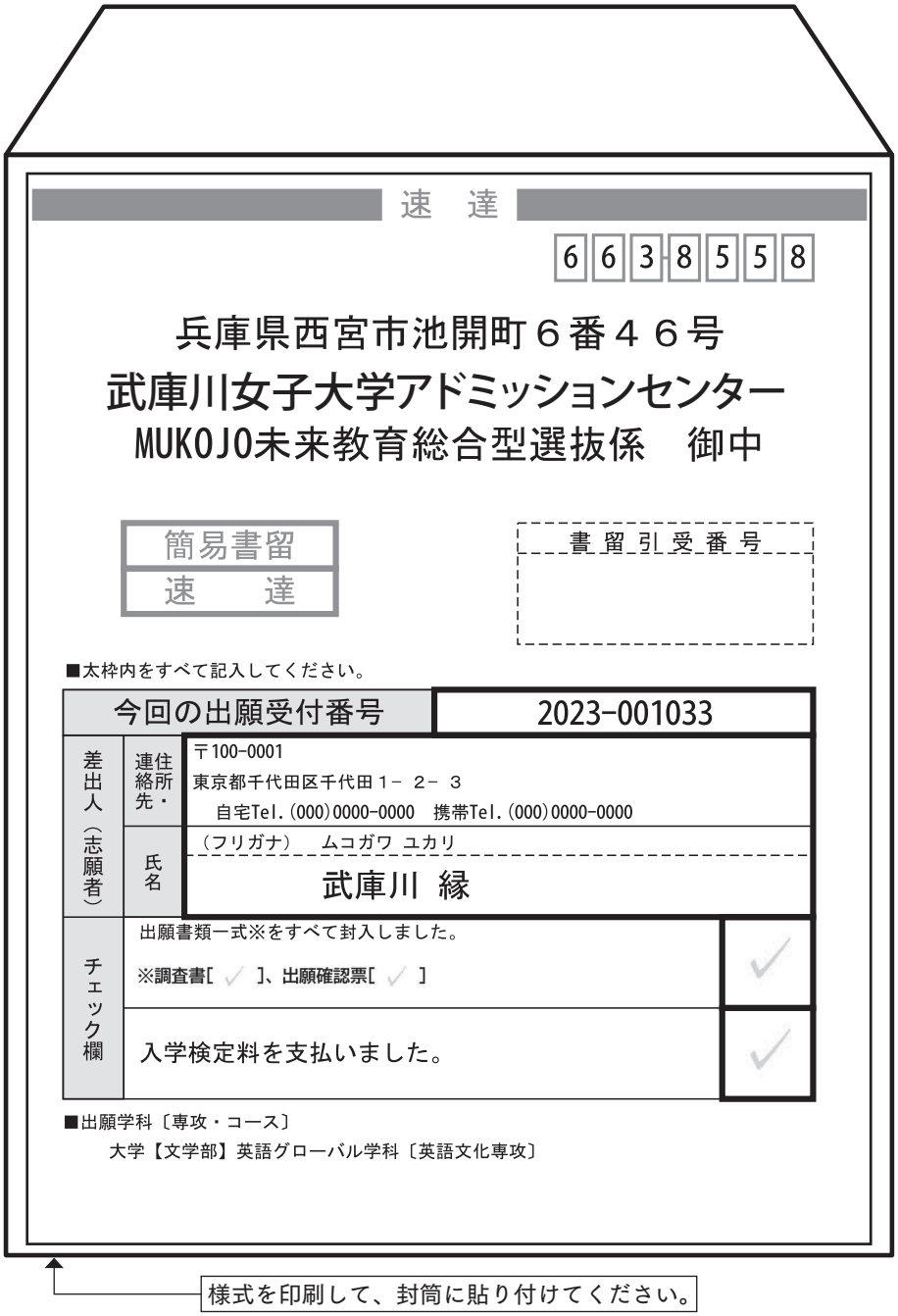
○「出願用封筒」を作成する

市販の角形２号型封筒を使用し、必要事項を記入した封筒貼付用紙を貼り付けてください。

封筒の中に調査書等および出願確認票を入れてください。

出願期間内に郵便局窓口から簡易書留・速達で郵送してください。

封筒イメージ



出願用封筒に貼る様式はイメージです。実際の様式は多少異なる場合があります。

様式を印刷して、封筒に貼り付けてください。

STEP 5　J-Bridge System で出願書類の入力をしてください。

「MUKOJO 未来教育総合型選抜」ページにて J-Bridge System の操作マニュアルや動画をアップしています。出願までに必ず確認しておいてください。

９．入学手続

入学手続の詳細については、判定通知書に同封する書類によりお知らせしますが、次の期間内に入学金（入学申込金）および学費等納付金を納入してください（入学金および学費等納付金については、次ページを参照）。

また、「入学までに必要な手続きや確認事項」の詳細は2025年11月１日（土）公開の「合格者サイト」で必ず確認してください。（各種手続きには期限がございます。合格された方は速やかに確認するようにしてください）

★入学金（入学申込金）および学費等納付金納入期間：2025年11月４日(火)～ 2025年12月12日(金)〔厳守〕

（最終日は当日振り込み扱いに限ります。金融機関によって、当日振り込み扱いが可能な時間が異なり、振り込み時間（特に午後）によっては、翌営業日振り込み扱いになります。その場合は、納入期間外の振り込みになるため入学手続を受け付けません。ご注意ください。）

武庫川女子大学では、入学金および学費等納付金の納入後、「入学許可書」「学納金納付完了通知」などの文書は発行しておりません。入学金および学費等納付金納入の際の領収書は、大切に保管してください。

（注意）(a)　期限までに手続きを完了しない方は、入学を辞退したものとみなしますので、期限を厳守してください。
(b)　出願書類に虚偽の記載があった時は、合格を取り消す場合があります。
(c)　いったん納入された入学金（入学申込金）は、いかなる場合も返還できません。

10. 入学金および学費等納付金

納付金は下表のとおりです。（参考：2025年度入学生納付金。2026年度入学生納付金等については、７月頃本学受験生サイトで更新します）

（単位：円）

費目 ＼ 学部・学科		大学											
		文学部			教育学部	心理・社会福祉学部		健康・スポーツ科学部		生活環境学部	社会情報学部	食物栄養科学部	
		日本語日本文学科	歴史文化学科	英語グローバル学科	教育学科	心理学科	社会福祉学科	健康・スポーツ科学科	スポーツマネジメント学科	生活環境学科	社会情報学科	食物栄養学科	食創造科学科
入学申込金	入学金	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000
学費	授業料（第1回・第2回共通額）	455,500	455,500	455,500	506,500	506,500	506,500	506,500	506,500	506,500	504,000	506,500	506,500
	教育充実費（第1回・第2回共通額）	103,000	103,000	103,000	118,000	118,000	118,000	118,000	118,000	128,500	92,500	128,500	128,500
	実験実習費（第1回・第2回共通額）	–	–	–	–	–	–	※1 13,000	※1 13,000	–	–	30,500	26,500
	実務実習費（第1回・第2回共通額）	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
その他諸費	教育後援会費（第1回）	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
	教育後援会費（第2回）	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500
	学友会費（第1回のみ）	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200
小計	第1回納入額（入学手続時）	769,700	769,700	769,700	835,700	835,700	835,700	848,700	848,700	846,200	807,700	876,700	872,700
	第2回納入額（10月）	562,000	562,000	562,000	628,000	628,000	628,000	641,000	641,000	638,500	600,000	669,000	665,000
初年度納入額総額		1,331,700	1,331,700	1,331,700	1,463,700	1,463,700	1,463,700	1,489,700	1,489,700	1,484,700	1,407,700	1,545,700	1,537,700
2年次以降納入額（年間）		1,199,200	1,199,200	※3 1,240,200	1,343,200	1,332,200	1,332,200	※4 1,399,200	※4 1,399,200	1,385,200	1,378,200	1,569,200	1,561,200

費目 ＼ 学部・学科		大学								
		建築学部		音楽学部		薬学部		環境共生学部	看護学部	経営学部
		建築学科	景観建築学科	演奏学科	応用音楽学科	薬学科	健康生命薬科学科	環境共生学科	看護学科	経営学科
入学申込金	入学金	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000
学費	授業料（第1回・第2回共通額）	570,000	570,000	697,500	697,500	764,500	575,500	560,000	686,000	407,500
	教育充実費（第1回・第2回共通額）	154,000	154,000	169,500	169,500	186,000	190,000	154,000	168,500	103,000
	実験実習費（第1回・第2回共通額）	40,000	40,000	–	–	–	–	–	–	–
	実務実習費（第1回・第2回共通額）	–	–	–	※2 10,000	–	–	–	–	–
その他諸費	教育後援会費（第1回）	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
	教育後援会費（第2回）	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500
	学友会費（第1回のみ）	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200
小計	第1回納入額（入学手続時）	975,200	975,200	1,078,200	1,088,200	1,161,700	976,700	925,200	1,065,700	721,700
	第2回納入額（10月）	767,500	767,500	870,500	880,500	954,000	769,000	717,500	858,000	514,000
初年度納入額総額		1,742,700	1,742,700	1,948,700	1,968,700	2,115,700	1,745,700	1,642,700	1,923,700	1,235,700
2年次以降納入額（年間）		1,714,200	1,714,200	1,899,200	1,899,200	2,103,200	1,773,200	1,644,200	1,771,200	1,256,200

※１　野外実習費 １年次・２年次のみ　　※２　１年次のみ
※３　英語グローバル学科は上記とは別にアメリカ分校留学の参加費が必要です（P.38参照）。
※４　３、４年次は1,373,200円になります。

〔注意事項〕

1．入学金（入学申込金）は、初年度のみの納入となります。
2．いったん納入された入学金（入学申込金）は、いかなる場合も返還できません。
3．学費、教育後援会会費は、入学手続時に年額の半額を第１回分として納入し、10月に残額を第２回分として納入となります。
4．薬学部の実験実習費は２年次以降の納入となります（薬学科は２～６年次　年額96,000円、健康生命薬科学科は２～４年次　年額160,000円）。
5．資格課程履修費等、学外・学内実習費等の臨時学費は、該当者のみ別途徴収します（詳細は下表参照）。
6．大学の指示する公的行事に参列する時は所定の制服を着用することが定められています。入学式までに本学指定制服を用意してください。
7．本学においては、入学に関する寄付金はいっさい受け取りません。
8．学費等納付金のほか入学手続については、P.35「入学手続」をご参照ください。

学生総合保障制度への全員加入

学生全員が安心安全な学生生活を送るために学生総合保障制度（学生保険）に全員加入していただきます。詳細は合格通知書に同封する書類でご確認ください。

資格取得に必要な諸経費（参考：2025年度実施分）

資格課程履修費等、学外・学内実習費等の臨時学費等は該当者のみ別途徴収します。

前年度参考

資格課程履修費等　（単位：円）

費　目	金　額
教職課程履修費（高校・中学校） 教育学部は学費に含むため別途徴収なし	40,000
〃　（高校）	24,000
〃　（特別支援学校）	16,000
〃　（栄養教諭）	16,000
保育士課程履修費	51,000
図書館司書課程履修費	15,000
学校図書館司書教諭課程履修費	8,000
博物館学芸員課程履修費	15,000
テキスタイルアドバイザー課程履修費	8,000
社会福祉士国家試験対策費	42,300
精神保健福祉士国家試験対策費	36,000
社会・精保福祉士国家試験対策費	58,300

上記課程履修費には学外実習費を含みます（テキスタイルアドバイザー課程履修費を除く）。
上記以外の模擬試験・各種講座等にかかる実費が必要な場合があります。

学外・学内実習費等　（単位：円）

費　目	金　額
幼稚園参加実習費	5,000
小学校参加実習費	5,000
中学校参加実習費	5,000
特別支援学校参加実習費	5,000
日本語教授法実習費（国内）	10,000
日本語教授法実習費（国外）	20,000
健康・スポーツ実践実習費	12,000
「ソーシャルワーク実習Ⅰ」実習費	10,000
「ソーシャルワーク実習Ⅱ」実習費	50,000
「ソーシャルワーク実習Ⅲ」実習費 両資格取得希望者	20,000
「ソーシャルワーク実習Ⅲ」実習費 精神のみ取得希望者	32,000
「ソーシャルワーク実習Ⅳ」実習費	30,000
テキスタイルアドバイザー実習費	12,000
「音楽療法実習Ⅱ」実習費	30,000
「音楽療法実習Ⅲ」実習費	30,000
「音楽療法実習Ⅳ」実習費	30,000
「音楽活用実習」実習費	20,000
公認心理師学外実習費	40,000
調理と裁縫の生活スキル実習費	2,500
コンディショニング指導演習Ⅰ実習費	5,500
調理学実習（生活環境学科３年）	9,500
メニュー企画・開発実習（食創造科学科３年）	5,000
スポーツ実技（ゴルフ）利用料	1,000

11．英語グローバル学科のアメリカ分校留学制度「レギュラー・プログラム」

1990年、アメリカ北西部にあるワシントン州スポケーン市に本学のアメリカ分校を開校しました。英語グローバル学科〔英語文化専攻〕は２年次前期に、〔グローバル・コミュニケーション専攻〕は１年次後期にそれぞれ全員参加の約４ヶ月間のアメリカ分校留学「レギュラー・プログラム」を実施します。この留学の目的は、英語の４技能（聞く・話す・読む・書く）とアメリカ社会・文化を学習し、国際語としての英語能力と国際感覚を備えた人材を養成することです。

そのため、次のような特色ある独自の留学プログラムを実施しています。

1．教員はすべてアメリカ人です。大学院で英語教授法に関する分野で修士号を取得した経験豊富な人達ばかりです。
2．英語力を養成する科目は１クラス12名程度、アメリカ文化などに関する講義は１クラス24名程度の少人数制をとっています。
3．留学中に米国主要都市などを訪れる旅行をカリキュラムの一環として位置付けています。事前に授業で学んだ知識を現地で実践的に確認し、アメリカ文化や歴史について理解をより一層深めます。
4．留学中は、キャンパス内で約４ヶ月間寮生活を送り、この寮生活を通して学生間の友情を深めます。また、社会人として必要な人との接し方や協調性・社会性などを学びます。
5．寮では、学生約10名につき１名ずつアメリカ人女子大学生がレジデント・アシスタント（RA）として寝食を共にし、彼女たちとの生活を通して英会話やアメリカ的な考え方・行動を学ぶことができます。
6．食堂のスタッフは、日本や日本人をよく知っており食生活に困ることはありません。
7．スポケーン市民との交流も盛んで、ホームステイの他、現地の学校訪問や、コミュニティが主催する行事に参加するなど、アメリカでの生活を満喫することができます。
8．留学中に実施される1泊～ 2泊のホームステイでは、生きたアメリカの日常生活を体験することができます。
9．現地スタッフが24時間体制での安全対策を実施しています。
10．日常生活を快適に安心して行えるよう、アドバイザーが常駐し、生活面の相談・指導を行っています。

1人あたりの留学費用内訳

【下記留学費用は2025年度実績額で、留学年度の費用は、為替、金利、物価等の経済情勢により変更します。】
アメリカ分校留学には、学費の他に次の費用が必要となります。

参加費

(1)	現地活動費	US$ 1,501	（フィールドワーク費用等現地課外活動諸費）
(2)	生　活　費	US$ 5,025	（食費・寮費・現地生活諸費）
	合　計	US$ 6,526	

※現地での授業料は、本校（西宮）で支払う授業料の１学期分をそのまま充当します。
※上記費用とは別に、渡航費（往復交通費、旅行保険等）および現地旅行費等が必要となります。
※渡航費および現地旅行費は、旅行会社への実費額となり、本学が代理徴収することとなります。
※参加費については、渡航前の基準日の為替レートを用いて円換算し、千円単位で決定します。
留学費用の総額については、別途、振込依頼書とともに通知します。
※上記費用は、本学のアメリカ分校の施設を利用して留学プログラムを実施するため、他大学と比較しても価格を低く設定しています。
（参考）米国の現地近隣大学では、「食費・寮費」のみで US$ 6,700程度必要となり、日本で同様の留学を実施している大学では、「生活費」のみで US$ 7,700程度必要となっています。

英語グローバル学科のアメリカ分校留学制度「エクステンション・プログラム」

上記の「レギュラー・プログラム」に加えて、英語グローバル学科〔英語文化専攻〕は２年次後期に、〔グローバル・コミュニケーション専攻〕は２年次前期にそれぞれ約４ヶ月間のアメリカ分校留学「エクステンション・プログラム」（参加自由）を実施しています。これは、「レギュラー・プログラム」で養った学力を一層向上させ、特に使える英語力の強化を図ることを目指したもので、留学の一環として米国国内での研修旅行や学外での積極的な文化交流も企画しています。

○文学部英語グローバル学科アメリカ分校留学エクステンションプログラムに係る費用

【下記留学費用は2025年度実績額で、留学年度の費用は、為替、金利、物価等の経済情勢により変更します。】

アメリカ分校留学には、学費の他に次の費用が必要となります。

⑴	現地活動費	US$ 1,438（フィールドワーク費用等現地課外活動諸費）
⑵	生　活　費	US$ 5,025（食費・寮費・現地生活諸費）
	合　計	US$ 6,463

・その他留意事項

※現地での授業料は、２年次後期に本校（西宮）で支払う授業料の１学期分をそのまま充当します。

※上記費用とは別に、渡航費（往復交通費、旅行保険等）および現地旅行費等が必要となります。

※渡航費および現地旅行費は、旅行会社への実費額となり、本学が代理徴収することとなります。

※参加費については、渡航前の基準日の為替レートを用いて円換算し、千円単位で決定します。
留学費用の総額については、別途、振込依頼書とともに通知します。

※レギュラー・プログラムに参加した後、エクステンション・プログラムの参加者には、学院から10万円相当が、全員に一律に補助されます。
上記参加費から、学院一律補助の10万円相当を控除した額を、円建てで納入することとなります。

※前述の、一律補助とは別に、学科が設定したTOEIC®のスコアを取得した学生に対して10万円または20万円の奨学金が支給されます。

※上記費用は、本学のアメリカ分校の施設を利用して留学プログラムを実施するため、他大学と比較しても価格を低く設定しています。

（参考）米国の現地近隣大学では、「食費・寮費」のみでUS$ 6,700 程度必要となり、日本で同様の留学を実施している大学では、「生活費」のみでUS$ 7,700 程度必要となっています。

12. アメリカ分校のための教育ローン制度

本学では、アメリカ分校留学を支援するための教育ローン制度があります。

13. 褒賞・奨学金制度 （参考：2025年度 褒賞・奨学金制度。2026年度 褒賞・奨学金制度については、7月頃本学受験生サイトで更新します）

1．本学の褒賞・奨学金制度は以下のようなものがあります。主たる制度の一覧を掲載しております。いずれも立学の精神に基づいて人材の育成に役立てることを目的としています。

名　称	内　　容
公江（こうえ）特待生	本学院の創設者の公江喜市郎先生の篤志を基金として設立されたものです。各学部学科から推薦を受けた学術優秀で、本学の学生として真にふさわしい者が対象となり、学力・人物の総合的判断により、選考委員会において決定されます。褒賞状および褒賞金が授与されます。 選考の効力は１年間です。
大河原（おおかわら）学院長賞	体育活動又は文化活動において一定基準以上の成績を収めた個人及び団体又は世界レベルの大会に出場した個人に対し、褒賞が与えられます。褒賞は1年度につき１回限りとします。

名　称	目　的	出願資格	支給額
新１年生対象 自宅外通学応援奨学	自宅外からの通学者に対して給付し、その経済的負担を軽減することで、学業の達成を援助することを目的とする	・当該年度の入学試験で合格し、本学に入学した者 ・日本学生支援機構の第一種奨学生に入学年度の8月までに採用決定された者（ただし給付型奨学金受給者は除く） ・日本学生支援機構が定める基準の遠隔地出身者で、入学年の4月から自宅外から通学している者	年額20万円給付 （入学年度限り）
卒業学年対象 貸与奨学金返還支援	社会人になる卒業学年の学生に対し、貸与金返済の軽減を図るための支援金を給付し、社会での活躍を支援することを目的とする	・当該年度に優秀な成績で卒業が見込まれる者 ・卒業学年において日本学生支援機構の第一種奨学金を受けている者 （ただし給付型奨学金受給者は除く）	年額30万円を限度として給付する （ただし、在学中の日本学生支援機構の第一種奨学金貸与総額を超えない金額とする）
武庫川学院奨学	立学の精神を顕揚して人材の育成に資するため、本学生に対し授業料の一部を給付して学業の達成を援助する	Ⓐ本学入学後、家計急変※1により授業料の納入が困難になったと認められる者で、学業継続の意志のある者 Ⓑ授業料の納入が困難な者で、学業継続の意志のある者	Ⓐ各自の納付する授業料の40%相当額（後期採用者は後期授業料の40%相当額）給付 Ⓑ年額20万円給付
武庫川学院創立80周年記念特別奨学	武庫川学院創立80周年を記念し、卒業生（鳴松会）をはじめ、教職員、各種団体、一般の方々の温かい寄付により、修学意欲があるにもかかわらず、経済的理由により、学業の継続が困難な学生を支援する	入学後に武庫川学院奨学に採用された学生で、家計困窮でありながら学業継続の意志のある者	年額20万円給付
薬学部薬学科貸与奨学金	学生の自立及び本学立学の精神を涵養することを目的として、経済的理由により修学困難な学生に対して援助を行う	薬学科４年生・５年生対象 ・学業成績優秀で次年度への進級が見込まれる者 ・経済的に修学が困難と認められる者	①当該年度授業料年額 ②120万③100万 ④80万⑤50万 貸与（無利子　返還の義務があります）
武庫川学院鳴松会奨学	鳴松会が本学卒業生として、本学に在籍する学生及び生徒に対し授業料の一部を給付して、学業の達成を援助すること	授業料の支弁が困難であり、学業優秀・品行方正であると認められる者 （家計急変※1事情を重視）	年額20万円給付 （ただし、給付額は年度により変更することがあります）

奨学制度の諸条件は変更になることがあります。詳細は各種奨学金の募集要項で確認してください。

※１　家計急変の内容は「主たる家計支持者の死亡・会社都合による解雇」等を指します。

２．公的育英奨学事業として、「日本学生支援機構奨学金」があり、奨学金制度には「第一種奨学金（返還時無利子)」、「第二種奨学金（返還時有利子、年利率上限３％)」、「給付型奨学金（原則返還不要)」があります。

また日本政策金融公庫の教育ローンの融資が受けられなかった家庭の学生は、入学時のみ特別増額貸与（有利子、10万、20万、30万、40万、50万円から選択）を受けることができます。

多くの学生が日本学生支援機構の奨学金を利用しています。

前年度参考

日本学生支援機構奨学金の種類と月額（2025年度）

種　類	学　年	月　額	
		自　宅	自宅外
第一種（無利子）	全学年	20,000円・30,000円・40,000円・54,000円から選択	20,000円・30,000円・40,000円・50,000円・64,000円から選択
第二種（有利子）	全学年	20,000円・30,000円・40,000円・50,000円・60,000円・70,000円・80,000円・90,000円・100,000円・110,000円・120,000円・140,000円[注1]から希望額を選択	
給付型[注2]	全学年	9,600円～42,500円	19,000円～75,800円

第一種奨学金は入学年度によって、適用される貸与月額が異なります。

給付型奨学金は世帯の所得金額によって適用される支給月額が異なります。

注１　薬学部のみ

注２　高等学校等を初めて卒業（修了）した日の属する年度の翌年度の末日から大学等へ入学した日までの期間が２年を経過していないこと。

３．上記の他に各府県・市の主催する奨学金制度および公益法人の奨学金制度があり活用されています。

14. 学寮（参考：2025年度 学寮。2026年度 学寮については、７月頃本学受験生サイトで更新します）

本学では、親元を離れて暮らす学生のために、７つの寮（内、ひとつは完全マンションタイプ）を設けています。以下に案内する６寮はいずれもキャンパスの近くにあり、異なった環境で育った学生が、規範性を学びながら有意義な共同生活を送っています。整備された設備・環境面のもと、さまざまな行事も用意されており、寮生は温かい家庭的雰囲気の中で安心した生活をしています。

学寮の概要

項目 / 寮名	建物の構造	収容定員（人）	一室の広さ（㎡）	一室の人数（人）	食事提供（朝食・夕食）の有無
啓成（けいせい）寮	鉄筋洋室 4F	47	10.2	1	あり
貞和（ていわ）寮	鉄筋洋室 5F	101	8.0	1	あり
むつみ寮	鉄筋洋室 4F	30	14.0	1	あり
若草（わかくさ）インターナショナルハウス	鉄筋洋室 4F	39	10.0	1	なし
甲子園口（こうしえんぐち）ハウス	鉄筋洋室 4F	18 ～ 32	14.0 ～ 16.0	1 ～ 2	なし
笠屋（かさや）インターナショナルハウス【３LDK ２～３人利用】	鉄筋 6F 洋室・和室	30	個室：10.9 共用部：21.9	1	なし

・収容定員は変更になることがあります。
・一室の広さは、標準的な寮室の面積で、部屋により若干の増減があります。
・入寮選考（抽選）において、入寮希望者が多数の場合はご希望に沿えない場合があります。
・各寮の寮室備品および共同設備等については、学生部学生課ホームページ内（「お住まいについて」→「学寮」）にてご確認ください。
・甲子園口ハウスには一部希望により１人部屋または２人部屋で利用できる居室があります。

〈2025年度寮経費〉　（単位：円）

費目 / 寮名	入寮費	第１回寮費	第２回寮費	年間寮経費合計（入寮費含）
(1)啓成（けいせい）寮	130,000	246,000	246,000	622,000
(2)貞和（ていわ）寮	150,000	297,000	297,000	744,000
(3)むつみ寮	150,000	297,000	297,000	744,000

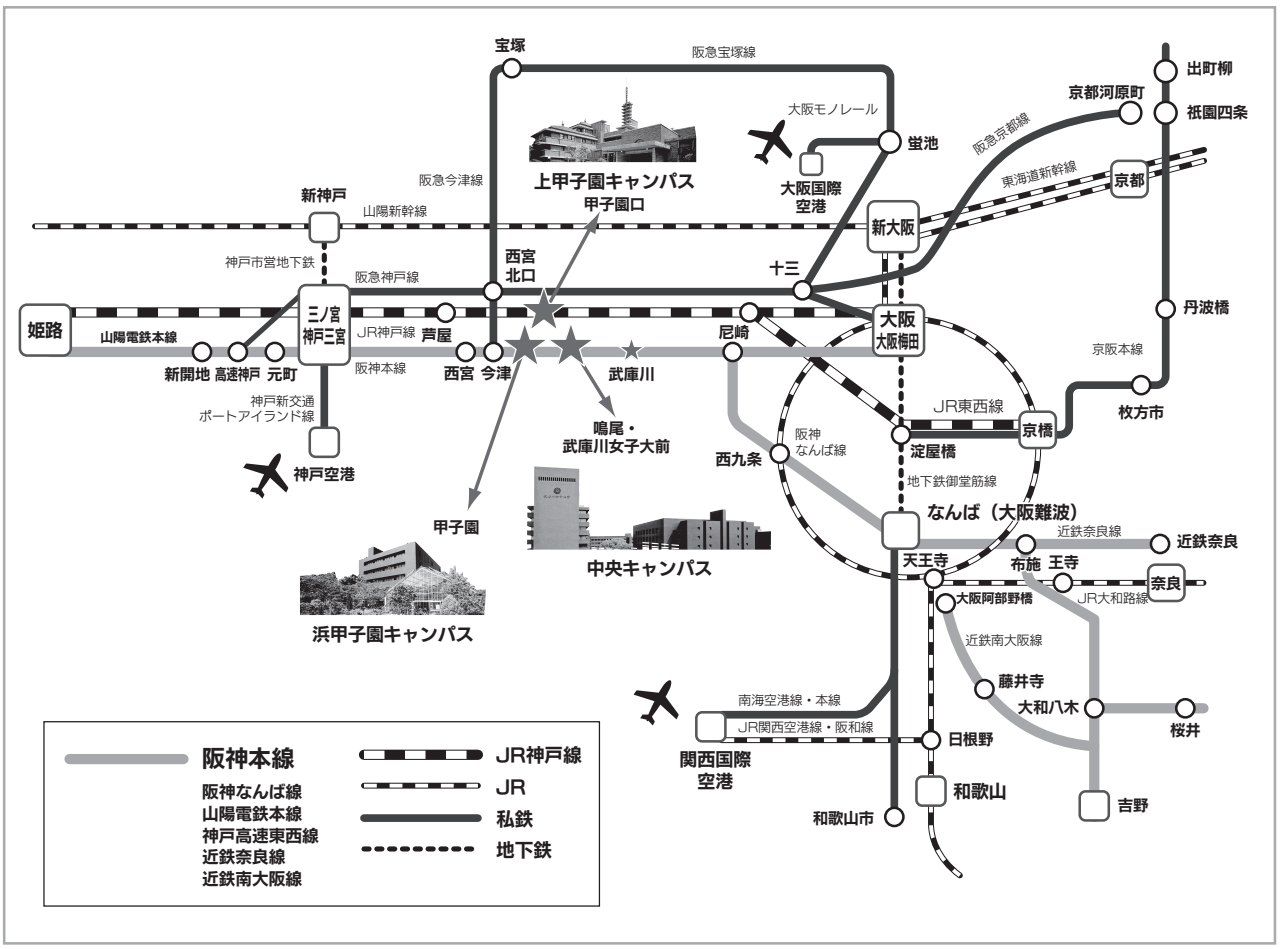
・寮費は年２回、前期と後期に分けて徴収します。
・入寮費は入寮確定後に徴収します。一度納入された入寮費は入寮辞退、退寮されても返還できません。
・寮経費（入寮費・寮費）は諸般の事情により、改定されることがあります。
・寮食は１日２食（朝・夕）とし、申し込み分のみ口座振替となります。また、夏休み・冬休み・春休みの食事提供はありません。
・啓成寮、貞和寮、むつみ寮は、年末年始の６日間と年度末の３日間休寮します。

（単位：円）

費　目 寮　名	入寮費	寮費：月額賃料
⑷若草（わかくさ）インターナショナルハウス	150,000	42,000
⑸甲子園口（こうしえんぐち）ハウス	150,000	【２人部屋２人利用】38,000
		【２人部屋１人利用】52,000
		【１人部屋利用】61,000
⑹笠屋（かさや）インターナショナルハウス	家賃の１か月分	【３LDK ３人利用】41,000
		【３LDK ２人利用】61,500

・上表の施設の寮費は、月額で徴収します。
・若草インターナショナルハウスの月額賃料の支払いに関しては、毎月27日に翌月分の家賃を口座振替にて徴収します。ただし、４月分につきましてはお手続き上、期日までに指定口座にお振り込みいただきます。
・甲子園口ハウスの月額賃料の支払いに関しては、毎月末日までに翌月分の家賃を学院指定口座にお振り込みいただきます。ただし、４月分につきましては年度の関係上、４月１日～４月８日の間にお振り込みとなります。
・笠屋インターナショナルハウスの月額賃料の支払いに関しては、毎月28日に翌月分の家賃を口座振替にて徴収します。ただし、４月分につきましてはお手続き上、期日までに指定口座にお振り込みいただきます。
・一度納入された寮経費は入寮辞退、退寮されても返還できません。
・入寮費・月額賃料は、諸般の事情により、改定されることがあります。
・若草インターナショナルハウスおよび甲子園口ハウス、笠屋インターナショナルハウスは食事提供がありません。

交通アクセス



※下記のアクセス方法・所要時間は一例です。曜日や時間帯によって異なりますので、十分注意してください。

中央キャンパス

●武庫川女子大学（文学部、教育学部、心理・社会福祉学部、健康・スポーツ科学部、生活環境学部、社会情報学部
食物栄養科学部、音楽学部、看護学部、経営学部）
●武庫川女子大学大学院（文学研究科、臨床教育学研究科、健康・スポーツ科学研究科、生活環境学研究科、食物栄養科学研究科、看護学研究科）
●武庫川女子大学専攻科

- 神戸方面から（阪神）：神戸三宮駅 —直通特急または快速急行16分→ 西宮駅 —普通7分→ 鳴尾・武庫川女子大前駅
- 大阪方面から（阪神）：大阪梅田駅 —直通特急9分→ 尼崎駅 —普通7分→ 鳴尾・武庫川女子大前駅
- 奈良・難波方面から（近鉄）：近鉄奈良駅 —快速急行40分→ 大阪難波駅 —快速急行17分（阪神なんば線経由）→ 尼崎駅

鳴尾・武庫川女子大前駅 —徒歩約7分→ 中央キャンパス

〒663-8558 兵庫県西宮市池開町6-46

浜甲子園キャンパス

●武庫川女子大学（薬学部・環境共生学部）
●武庫川女子大学大学院（薬学研究科）

- 神戸方面から（阪神）：神戸三宮駅 —直通特急または快速急行19分→ 甲子園駅
- 大阪方面から（阪神）：大阪梅田駅 —直通特急15分→ 甲子園駅
- 奈良・難波方面から（近鉄）：近鉄奈良駅 —快速急行40分→ 大阪難波駅 —快速急行26分（阪神なんば線経由）→ 甲子園駅

甲子園駅 —徒歩約15分→ 浜甲子園キャンパス
甲子園駅 —阪神バス約2分（浜甲子園団地行き）→ 武庫川女子大薬学部前 → 浜甲子園キャンパス

〒663-8179 兵庫県西宮市甲子園九番町11-68

上甲子園キャンパス

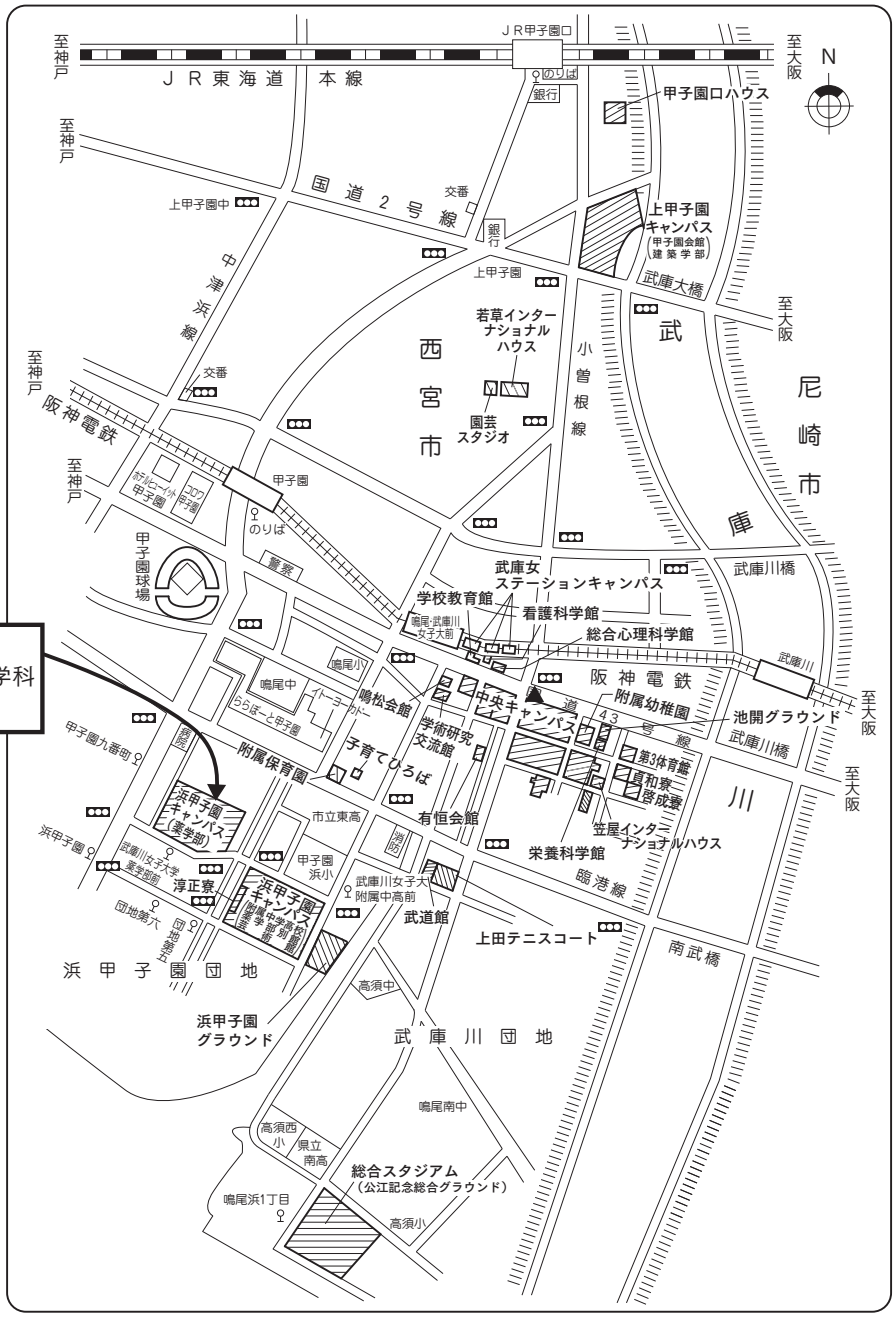
●武庫川女子大学（建築学部）
●武庫川女子大学大学院（建築学研究科）

- 神戸方面から：JR三ノ宮駅 —新快速9分→ 芦屋駅 —普通7分→ 甲子園口駅
- 大阪方面から：JR大阪駅 —普通13分→ 甲子園口駅

甲子園口駅 —徒歩約10分→ 上甲子園キャンパス

〒663-8121 兵庫県西宮市戸崎町1-13

◇　試験場案内図



浜甲子園キャンパス

薬学科
健康生命薬科学科
環境共生学科

最寄駅

阪神電車「甲子園駅」から徒歩約15分

中央キャンパス

日本語日本文学科
歴史文化学科
英語グローバル学科〔英語文化専攻〕
英語グローバル学科〔グローバル・コミュニケーション専攻〕
教育学科
心理学科
社会福祉学科
健康・スポーツ科学科
スポーツマネジメント学科
生活環境学科
社会情報学科〔情報メディア専攻〕
社会情報学科〔情報サイエンス専攻〕
食物栄養学科
食創造科学科
演奏学科
応用音楽学科
経営学科

最寄駅

阪神電車「鳴尾・武庫川女子大前駅」から徒歩約7分

※実施学科のみ記載

武庫川女子大学のアドミッション・ポリシー

MUKOJO 未来教育総合型選抜実施学科のアドミッション・ポリシーを掲載します。

各学科の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

学科	入学者受入れ方針	
日本語日本文学科	武庫川女子大学文学部日本語日本文学科では、「立学の精神」と「MUKOGAWA COMPASS」に共感し、これらに基づいた、本学科のディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）を理解したうえで、本学科のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）に則した教育課程を学ぶために必要な、以下に掲げる学力と意欲を有する女性の入学を受入れます。	
	知識	社会を理解し、日本語日本文学に関する専門性を身につけるために必要な基礎学力を有している。 高等学校等で現代文、古文を十分に学び、外国語にも一定の知識と関心を持ち、文系・理系とも幅広く学習して基礎的な学力を有している。
	姿勢	自他を尊重し、失敗を恐れず挑戦するしなやかな姿勢を身につける意欲を有している。
	行動	自ら考えて表現すること、新たな価値を創造し、多様な人々と協働することへの意欲を有している。 本学科での学修を通して得た専門的知識と読解力、思考力・判断力、表現力を活かして、高いコミュニケーション能力を有する職業人としてさまざまな分野で活躍し、社会に貢献しようという意志を持っている。
歴史文化学科	武庫川女子大学文学部歴史文化学科では、「立学の精神」と「MUKOGAWA COMPASS」に共感し、これらに基づいた、本学科のディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）を理解したうえで、本学科のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）に則した教育課程を学ぶために必要な、以下に掲げる学力と意欲を有する女性の入学を受入れます。	
	知識	社会を理解し、歴史文化学に関する専門性を身につけるために必要な基礎学力を有している。 高等学校等で日本史、地理分野を十分に学び、外国語にも一定の知識と関心を持ち、文系・理系分野も幅広く学習して基礎的な学力を有している。
	姿勢	自他を尊重し、失敗を恐れず挑戦するしなやかな姿勢を身につける意欲を有している。 社会の諸課題に対して自分の意見を持ち、主体的に活動する姿勢・態度を有している。
	行動	自ら考えて表現すること、新たな価値を創造し、多様な人々と協働することへの意欲を有している。 本学科で得た専門的能力を、豊かな感性をもとに公平な視点を持って多様な人々と協働するために活かすことへの意欲を有している。
英語グローバル学科	武庫川女子大学文学部英語グローバル学科では、「立学の精神」と「MUKOGAWA COMPASS」に共感し、これらに基づいた、本学科のディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）を理解したうえで、本学科のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）に則した教育課程を学ぶために必要な、以下に掲げる学力と意欲を有する女性の入学を受入れます。	
	知識	社会を理解し、英語グローバル学に関する専門性を身につけるために必要な基礎学力を有している。 大学入学までに学んだ英語をはじめ、その他の教科の知識を活用することができる。
	姿勢	自他を尊重し、失敗を恐れず挑戦するしなやかな姿勢を身につける意欲を有している。 英語を使って、地域ならびに国際社会の発展に貢献したいという熱意を有している。
	行動	自ら考えて表現すること、新たな価値を創造し、多様な人々と協働することへの意欲を有している。 豊かな感性と広い視野を持ち、多様な人々と共に学び成長したいという熱意を有している。
教育学科	武庫川女子大学教育学部教育学科では、「立学の精神」と「MUKOGAWA COMPASS」に共感し、これらに基づいた、本学科のディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）を理解したうえで、本学科のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）に則した教育課程を学ぶために必要な、以下に掲げる学力と意欲を有する女性の入学を受入れます。	
	知識	社会を理解し、教育学に関する専門性を身につけるために必要な基礎学力を有している。 高等学校等での各教科ほかの学びを基盤としつつ、様々な知識を活用する力を有している。
	姿勢	自他を尊重し、失敗を恐れず挑戦するしなやかな姿勢を身につける意欲を有している。 教師や保育者として子どものすこやかな成長・発達に貢献したいという熱意を有している。
	行動	自ら考えて表現すること、新たな価値を創造し、多様な人々と協働することへの意欲を有している。 豊かな感性と公平な視点を持ち、多様な人々と協働して学ぶ態度を有している。

各学科の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

学科	入学者受入れ方針	
心理学科	武庫川女子大学心理・社会福祉学部心理学科では、「立学の精神」と「MUKOGAWA COMPASS」に共感し、これらに基づいた、本学科のディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）を理解したうえで、本学科のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）に則した教育課程を学ぶために必要な、以下に掲げる学力と意欲を有する女性の入学を受入れます。	
	知識	社会を理解し、心理学に関する専門性を身につけるために必要な基礎学力を有している。 文系・理系という狭い枠にとらわれず、高等学校等での各教科をできる限り幅広く履修し、確かな基礎知識を備えている。
	姿勢	自他を尊重し、失敗を恐れず挑戦するしなやかな姿勢を身につける意欲を有している。
	行動	自ら考えて表現すること、新たな価値を創造し、多様な人々と協働することへの意欲を有している。 人を支援することに高いモチベーションを有し、心理的支援を行う専門職や、心理学の知識を活かした職業を目指すことや、これらに必要な資質や能力を高めることによって、社会の一員としての自覚を持ち、人びとの幸福に貢献しようとする意欲を有している。
社会福祉学科	武庫川女子大学心理・社会福祉学部社会福祉学科では、「立学の精神」と「MUKOGAWA COMPASS」に共感し、これらに基づいた、本学科のディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）を理解したうえで、本学科のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）に則した教育課程を学ぶために必要な、以下に掲げる学力と意欲を有する女性の入学を受入れます。	
	知識	社会を理解し、社会福祉学に関する専門性を身につけるために必要な基礎学力を有している。 より良い社会の実現に向けた社会を希求するため、社会福祉学に関する知識を有している。
	姿勢	自他を尊重し、失敗を恐れず挑戦するしなやかな姿勢を身につける意欲を有している。 自己の内省に努め、誠実な姿勢で人間理解に努める力を有している。
	行動	自ら考えて表現すること、新たな価値を創造し、多様な人々と協働することへの意欲を有している。 課題を自ら発見し、積極的で前向きな行動力を有している。
健康・スポーツ科学科	武庫川女子大学健康・スポーツ科学部健康・スポーツ科学科では、「立学の精神」と「MUKOGAWA COMPASS」に共感し、これらに基づいた、本学科のディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）を理解したうえで、本学科のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）に則した教育課程を学ぶために必要な、以下に掲げる学力と意欲を有する女性の入学を受入れます。	
	知識	社会を理解し、健康・スポーツ科学に関する専門性を身につけるために必要な基礎学力を有している。 高等学校等での各教科等の学びや健康・スポーツに関する経験知を有している。
	姿勢	自他を尊重し、失敗を恐れず挑戦するしなやかな姿勢を身につける意欲を有している。 健康・スポーツ科学分野のリーダーとして、子どもの健やかな成長・発達と、全ての人々の生活の質の向上に貢献したいという熱意を有している。
	行動	自ら考えて表現すること、新たな価値を創造し、多様な人々と協働することへの意欲を有している。 豊かな感性と高い倫理観を持ち、多様な人々と協働して主体的に学ぶ態度を有している。
スポーツマネジメント学科	武庫川女子大学健康・スポーツ科学部スポーツマネジメント学科では、「立学の精神」と「MUKOGAWA COMPASS」に共感し、これらに基づいた、本学科のディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）を理解したうえで、本学科のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）に則した教育課程を学ぶために必要な、以下に掲げる学力と意欲を有する女性の入学を受入れます。	
	知識	社会を理解し、スポーツ科学に関する専門性を身につけるために必要な基礎学力を有している。 高等学校等での各教科等の学びや健康・スポーツに関する経験知を有している。
	姿勢	自他を尊重し、失敗を恐れず挑戦するしなやかな姿勢を身につける意欲を有している。 スポーツマネジメントの分野において、全ての人々にスポーツの持つ多様な価値を伝えたいという熱意を有している。
	行動	自ら考えて表現すること、新たな価値を創造し、多様な人々と協働することへの意欲を有している。 豊かな感性と高い倫理観を持ち、多様な人々と協同して主体的に学ぶ態度を有している。

各学科の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

学科	入学者受入れ方針	
生活環境学科	武庫川女子大学生活環境学部生活環境学科では、「立学の精神」と「MUKOGAWA COMPASS」に共感し、これらに基づいた、本学科のディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）を理解したうえで、本学科のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）に則した教育課程を学ぶために必要な、以下に掲げる学力と意欲を有する女性の入学を受入れます。	
	知識	社会を理解し、生活環境学に関する専門性を身につけるために必要な基礎学力を有している。 身の回りにあり生活を形づくるものごとを、連続した生活環境として捉え、広い視野を持って学ぶための思考力を有している。
	姿勢	自他を尊重し、失敗を恐れず挑戦するしなやかな姿勢を身につける意欲を有している。 生活環境に関して、文化的・社会的・科学的・工学的・造形的な観点からの基礎的・専門的な知識を習得しようとする姿勢を有している。
	行動	自ら考えて表現すること、新たな価値を創造し、多様な人々と協働することへの意欲を有している。 生活環境を構成する事象に対し、定量的・論理的・創造的なアプローチから学び、生活環境における課題を発見・分析し、その解決策・改善策を提案し、社会に還元しようとする意欲を有している。
社会情報学科	武庫川女子大学社会情報学部社会情報学科では、「立学の精神」と「MUKOGAWA COMPASS」に共感し、これらに基づいた、本学科のディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）を理解したうえで、本学科のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）に則した教育課程を学ぶために必要な、以下に掲げる学力と意欲を有する女性の入学を受入れます。	
	知識	社会を理解し、社会情報学に関する専門性を身につけるために必要な基礎学力を有している。 文系・理系という枠にとらわれず、高等学校等において幅広い教科・科目を履修し、確かな基礎知識を備えている。 ICT 社会におけるデータの活用や情報技術に多角的な視点から興味や関心を持ち、社会への深い洞察力と多様なメディアを使いこなす技能を習得する能力の基盤を有している。
	姿勢	自他を尊重し、失敗を恐れず挑戦するしなやかな姿勢を身につける意欲を有している。 情報化社会の健全な発展に貢献したいという意欲を持っている。
	行動	自ら考えて表現すること、新たな価値を創造し、多様な人々と協働することへの意欲を有している。 豊かな感性と公平な視点を持ち、多様な人々と協働して学ぶ態度を有している。
食物栄養学科	武庫川女子大学食物栄養科学部食物栄養学科では、「立学の精神」と「MUKOGAWA COMPASS」に共感し、これらに基づいた、本学科のディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）を理解したうえで、本学科のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）に則した教育課程を学ぶために必要な、以下に掲げる学力と意欲を有する女性の入学を受入れます。	
	知識	社会を理解し、食物栄養学に関する専門性を身につけるために必要な基礎学力を有している。 自然科学の基礎知識を十分に学習し、高等学校等において幅広い教科・科目を履修して確かな基礎知識を備えている。
	姿勢	自他を尊重し、失敗を恐れず挑戦するしなやかな姿勢を身につける意欲を有している。 高いモチベーションを有し、高度な問題解決能力および実践的能力を身につけた管理栄養士となって、生活習慣病等の発症予防・重症化予防と健康増進に貢献しようとする意欲を有している。
	行動	自ら考えて表現すること、新たな価値を創造し、多様な人々と協働することへの意欲を有している。 高いコミュニケーション能力を有し、チームのリーダー的管理栄養士となって、生活習慣病等の発症予防・重症化予防と健康増進に貢献しようという意志を持っている。
食創造科学科	武庫川女子大学食物栄養科学部食創造科学科では、「立学の精神」と「MUKOGAWA COMPASS」に共感し、これらに基づいた、本学科のディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）を理解したうえで、本学科のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）に則した教育課程を学ぶために必要な、以下に掲げる学力と意欲を有する女性の入学を受入れます。	
	知識	社会を理解し、食創造科学に関する専門性を身につけるために必要な基礎学力を有している。 自然科学の基礎知識に加え、高等学校等で学習する幅広い基礎学力を有している。
	姿勢	自他を尊重し、失敗を恐れず挑戦するしなやかな姿勢を身につける意欲を有している。 高度な問題解決能力と実践的能力を身につけた「食の専門家」として、食産業界の発展に貢献しようとする意欲を有している。
	行動	自ら考えて表現すること、新たな価値を創造し、多様な人々と協働することへの意欲を有している。 豊かな発想と高いコミュニケーション能力を活かして、新しい食を創造し、人々の豊かで健康的な食生活に貢献しようという意志を有している。

各学科の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

学科	入学者受入れ方針	
演奏学科	武庫川女子大学音楽学部演奏学科では、「立学の精神」と「MUKOGAWA COMPASS」に共感し、これらに基づいた、本学科のディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）を理解したうえで、本学科のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）に則した教育課程を学ぶために必要な、以下に掲げる学力と意欲を有する女性の入学を受入れます。	
	知識	社会を理解し、音楽に関する専門性を身につけるために必要な基礎学力を有している。 幅広い教養と音楽に関する基礎知識および専門実技の基礎技術を有している。
	姿勢	自他を尊重し、失敗を恐れず挑戦するしなやかな姿勢を身につける意欲を有している。 芸術を深く愛する心と柔軟な感性を持ち、高度な専門的教養と演奏技術の習得に向けて研鑽を積む積極性を有している。
	行動	自ら考えて表現すること、新たな価値を創造し、多様な人々と協働することへの意欲を有している。 自ら考え人に感銘を与える高い芸術性を希求し、国際感覚を備えた音楽に関する専門家を目指す意欲を有している。
応用音楽学科	武庫川女子大学音楽学部応用音楽学科では、「立学の精神」と「MUKOGAWA COMPASS」に共感し、これらに基づいた、本学科のディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）を理解したうえで、本学科のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）に則した教育課程を学ぶために必要な、以下に掲げる学力と意欲を有する女性の入学を受入れます。	
	知識	社会を理解し、音楽に関する専門性を身につけるために必要な基礎学力を有している。 音楽に関する基本的な知識と演奏技術を備え、高等学校等での各教科等における基礎学力を有している。
	姿勢	自他を尊重し、失敗を恐れず挑戦するしなやかな姿勢を身につける意欲を有している。 音楽と人間に関わる幅広い領域に興味関心を持ち、音楽を通して社会に寄与したいという熱意を有している。
	行動	自ら考えて表現すること、新たな価値を創造し、多様な人々と協働することへの意欲を有している。 多様な人々と協同して学ぶ態度を備え、本学科での学修を通して得た知識や技能を活かした職業に就き、それぞれの分野において活躍し、社会に貢献したいという意志を持っている。
薬学科	武庫川女子大学薬学部薬学科では、「立学の精神」と「MUKOGAWA COMPASS」に共感し、これらに基づいた、本学科のディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）を理解したうえで、本学科のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）に則した教育課程を学ぶために必要な、以下に掲げる学力と意欲を有する女性の入学を受入れます。	
	知識	社会を理解し、薬学に関する専門性を身につけるために必要な基礎学力を有している。 上記の学力として、医薬品や病態・薬物治療の理解を助ける化学または生物の学力を重視するが、数学、国語、英語の基礎学力も修得していることが望ましい。 患者・生活者心理の理解の基本となる幅広い教養を有している。
	姿勢	自他を尊重し、失敗を恐れず挑戦するしなやかな姿勢を身につける意欲を有している。 将来、薬の専門家として、医療の発展に貢献したいという意欲を有している。 医療人としての倫理観、思いやりと協調性、コミュニケーション能力を育くんで、健康・福祉に携わる者として社会貢献したいという意欲を有している。
	行動	自ら考えて表現すること、新たな価値を創造し、多様な人々と協働することへの意欲を有している。 自ら学ぼうとする強い意欲、地道に努力する勤勉さを有している。 科学的な思考力と問題提起・解決能力を身につけようとする意欲を有している。

各学科の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

学科	入学者受入れ方針	
健康生命薬科学科	武庫川女子大学薬学部健康生命薬科学科では、「立学の精神」と「MUKOGAWA COMPASS」に共感し、これらに基づいた、本学科のディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）を理解したうえで、本学科のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）に則した教育課程を学ぶために必要な、以下に掲げる学力と意欲を有する女性の入学を受入れます。	
	知識	社会を理解し、薬科学に関する専門性を身につけるために必要な基礎学力を有している。 科学的な思考力をもって問題解決に取り組む能力を有している。
	姿勢	自他を尊重し、失敗を恐れず挑戦するしなやかな姿勢を身につける意欲を有している。 主体性と協調性をもって研究に取り組み、研究成果を通して社会に貢献したいという意志がある。 研究者や医療人として必要な知識や技能を修得するための積極的な学修姿勢を有している。 中学・高等学校の理科教員として、後継者育成活動に寄与したいという意志がある。
	行動	自ら考えて表現すること、新たな価値を創造し、多様な人々と協働することへの意欲を有している。 能動的な学習態度を身につけており、自己研鑽を継続できる。 他者の価値観を尊重し、良好な関係を築くための基本的なコミュニケーション能力と表現力を有している。
環境共生学科	武庫川女子大学環境共生学部環境共生学科では、「立学の精神」と「MUKOGAWA COMPASS」に共感し、これらに基づいた、本学科のディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）を理解したうえで、本学科のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）に則した教育課程を学ぶために必要な、以下に掲げる学力と意欲を有する女性の入学を受入れます。	
	知識	社会を理解し、環境共生学に関する専門性を身につけるために必要な基礎学力を有している。 具体的には自然科学に基づく生物学や化学などの理解力、様々な事象を定量的、確率的に表す数学的能力、国語や英語によるコミュニケーションおよび論理的思考の基本となる能力を有している。
	姿勢	自他を尊重し、失敗を恐れず挑戦する姿勢を有している。 異なる学問分野の考え方を組み合わせるなどの柔軟な思考力や、自身の興味がある分野の高い専門性と技術を身につけて、自然環境の利用や保全に関する計画・デザインを行うことで、持続可能な社会の構築に貢献しようとする意欲を有している。
	行動	自ら考えて表現すること、多様な人々と協働することへの意欲を有している。 社会が抱える環境問題などの課題に目を向け、課題解決のための実践的な活動に取り組もうとする意欲を有している。
経営学科	武庫川女子大学経営学部経営学科では、「立学の精神」と「MUKOGAWA COMPASS」に共感し、これらに基づいた、本学科のディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）を理解したうえで、本学科のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）に則した教育課程を学ぶために必要な、以下に掲げる学力と意欲を有する女性の入学を受入れます。	
	知識	社会を理解し、経営学に関する専門性を身につけるために必要な基礎学力を有している。
	姿勢	自他を尊重し、失敗を恐れず挑戦するしなやかな姿勢を身につける意欲を有している。
	行動	自ら考えて表現すること、新たな価値を創造し、多様な人々と協働することへの意欲を有している。

◎　入試については武庫川女子大学アドミッションセンターにお問い合わせください。

受験生専用直通ダイヤル	（0798）45−3500
メールアドレス	nyuss@mukogawa-u.ac.jp
インターネットホームページ	https://www.mukogawa-u.ac.jp/

武　庫　川　女　子　大　学

中　央　キ　ャ　ン　パ　ス　〒663－8558　兵庫県西宮市池開町6−46

浜甲子園キャンパス（薬学部・環境共生学部）　〒663－8179　兵庫県西宮市甲子園九番町11−68